

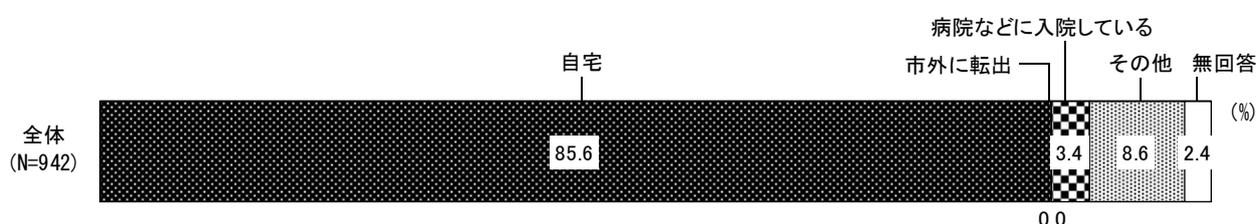
第4章 介護保険居宅サービス利用者調査

1 基本属性

(1) 現在の生活場所 (F 1)

現在の生活場所は、「自宅」が85.6%、「病院などに入院している」が3.4%となっている。
(図表4-1-1)

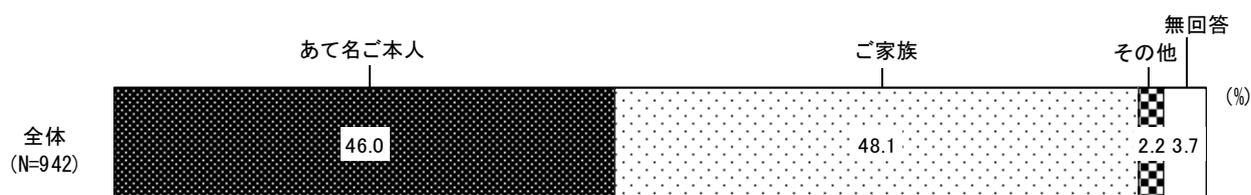
図表4-1-1 現在の生活場所 (全体)



(2) 調査票の記入者 (F 2)

調査票の記入者は、「あて名ご本人」が46.0%、「ご家族」が48.1%となっている。(図表4-1-2)

図表4-1-2 調査票の記入者 (全体)



(3) 性別 (F 3)

性別は、「男性」が34.0%、「女性」が65.4%となっている。(図表4-1-3)

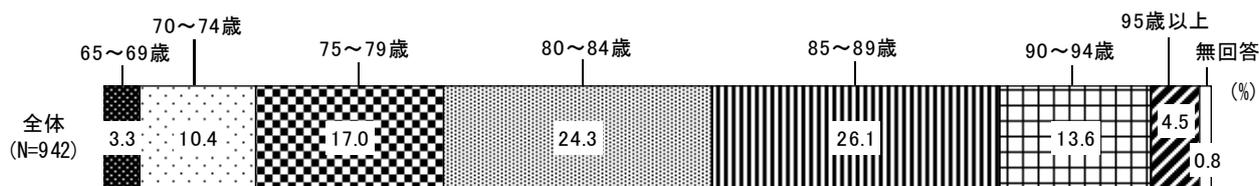
図表4-1-3 性別 (全体)



(4) 年齢 (F 4)

年齢は、「65～69歳」が3.3%、「70～74歳」が10.4%、「75～79歳」が17.0%、「80～84歳」が24.3%、「85～89歳」が26.1%、「90～94歳」が13.6%、「95歳以上」が4.5%となっている。(図表4-1-4)

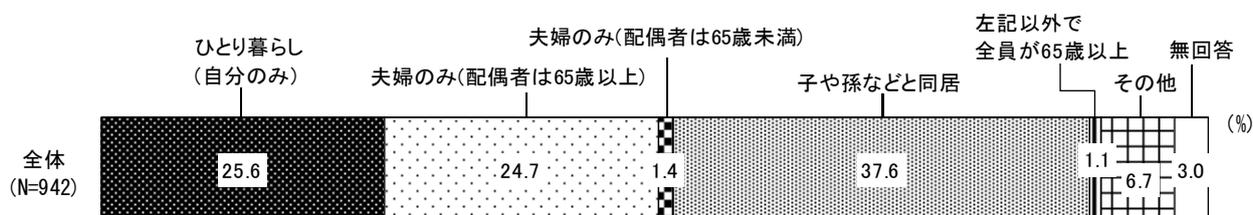
図表4-1-4 年齢 (全体)



(5) 世帯状況 (F 5)

世帯状況は、「子や孫など同居 (37.6%)」が最も多く、「ひとり暮らし (自分のみ) (25.6%)」、「夫婦のみ (配偶者は65歳以上) (24.7%)」、「その他 (6.7%)」が続いている。(図表4-1-5)。

図表4-1-5 世帯状況 (全体)



(6) 日中独居の状況 (F 6)

日中、ひとりであることが多いかたずねたところ、「ひとりであることが多い」が43.4%、「ひとりであることは少ない」が54.0%となっている。(図表4-1-6)

図表4-1-6 日中独居の状況 (全体)



(7) 食事や介護などを助け合っている身内や友人

①食事や介護などを助け合っている身内や友人の有無 (F7)

食事や介護などを助け合っている身内や友人の有無は、「いる」が 66.3%、「いない」が 30.6%となっている。(図表4-1-7-①)

図表4-1-7-① 助け合っている身内や友人の有無 (全体)

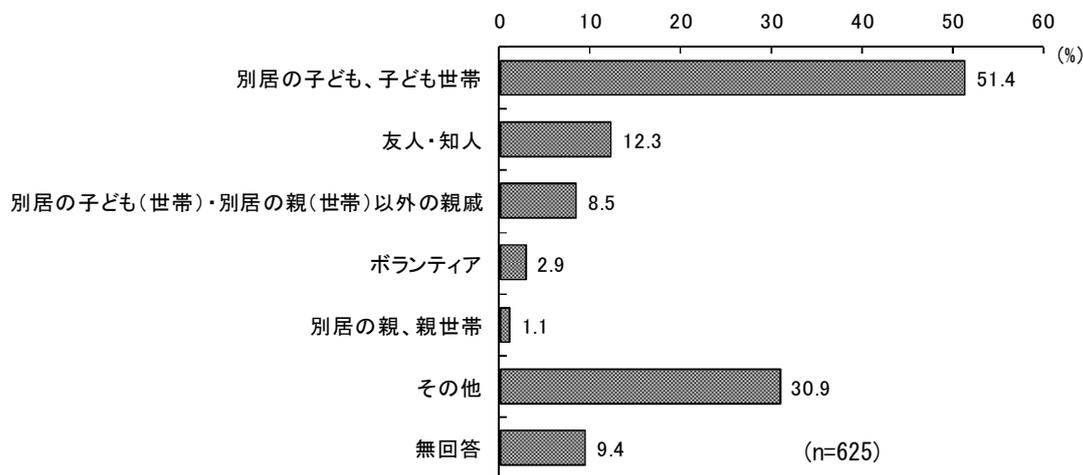


②助け合っている人との関係 (F7-1)

助け合っている身内や友人がいる人に、助け合っている人との関係をたずねたところ、「別居の子ども、子ども世帯 (51.4%)」が過半数を占め最も多く、「友人・知人 (12.3%)」が続いている。(図表4-1-7-②)

図表4-1-7-② 助け合っている人との関係 (全体：複数回答)

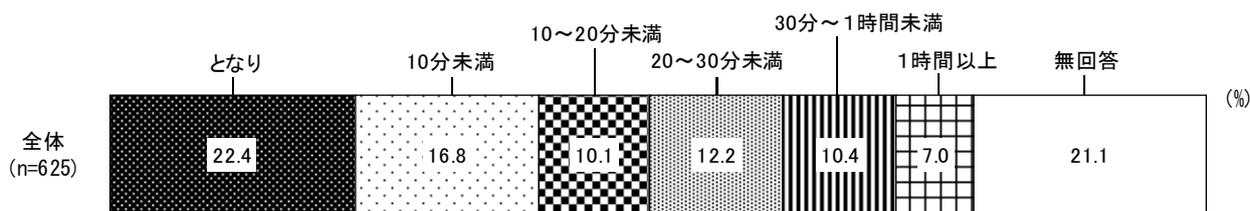
<助け合っている身内や友人がいる人>



③一番よく行き来する人との距離 (F7-2)

助け合っている身内や友人がいる人に、一番よく行き来する人との距離をたずねたところ、「となり (22.4%)」が最も多く、「10分未満 (16.8%)」、「20～30分未満 (12.2%)」、「30分～1時間未満 (10.4%)」、「10～20分未満 (10.1%)」が続いている。(図表4-1-7-③)

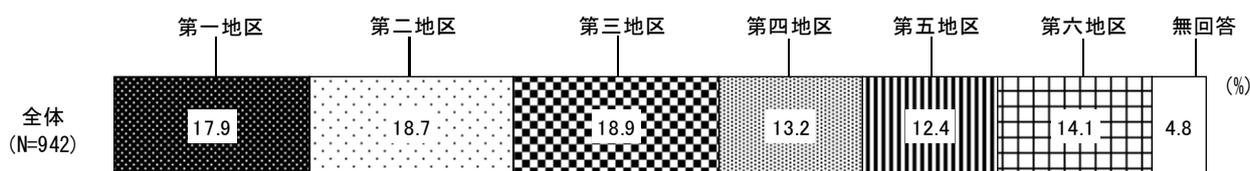
図表4-1-7-③ 一番よく行き来する人との距離 (全体)
 <助け合っている身内や友人がいる人>



(8) 居住地域 (F8)

居住地域は、「第一地区」が17.9%、「第二地区」が18.7%、「第三地区」が18.9%、「第四地区」が13.2%、「第五地区」が12.4%、「第六地区」が14.1%となっている。(図表4-1-8)

図表4-1-8 居住地域 (全体)



(9) 居住形態 (F9)

居住形態は、「持ち家の一戸建て (67.4%)」が最も多く、「公的賃貸住宅 (9.0%)」、「持ち家の集合住宅 (8.4%)」、「民間賃貸の集合住宅 (3.1%)」が続いている。(図表4-1-9)

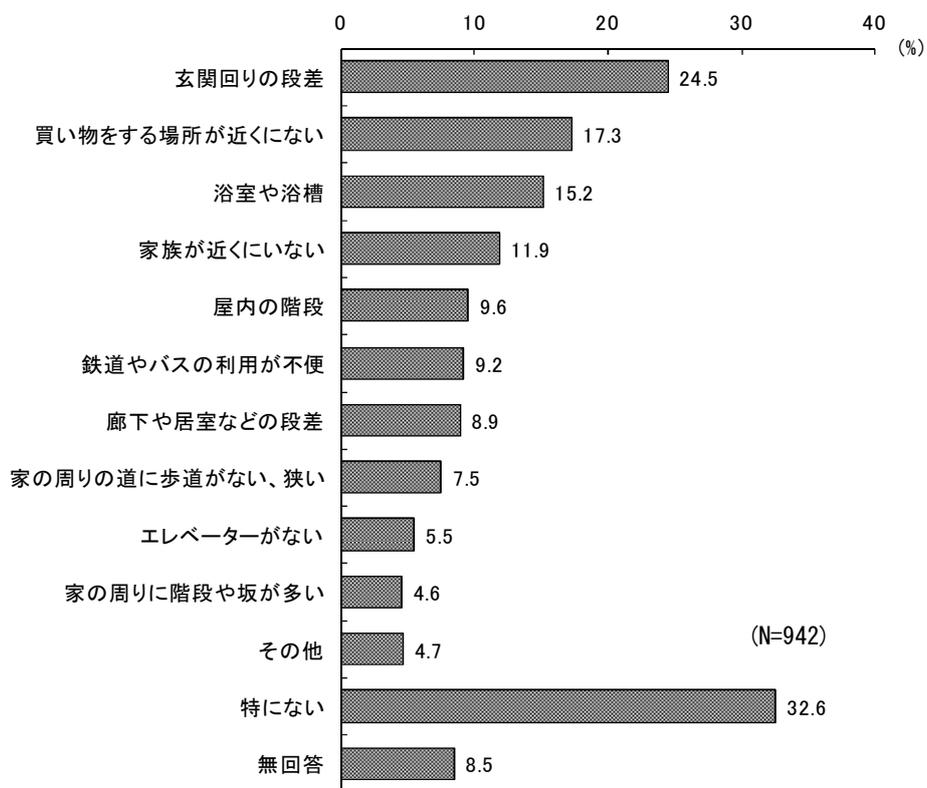
図表4-1-9 居住形態 (全体)



(10) 住まいや住環境で困っていること (F10)

住まいや住環境で困っていることは、「特にない (32.6%)」が3割台となっている。困っていることでは、「玄関回りの段差 (24.5%)」が最も多く、「買い物をする場所が近くにない (17.3%)」、「浴室や浴槽 (15.2%)」、「家族が近くにいらない (11.9%)」が続いている。〔前回:「特にない」26.3%、「玄関回りの段差」27.5%、「買い物をする場所が近くにない」22.2%、以下1割前後で同傾向〕(図表4-1-10)

図表4-1-10 住まいや住環境で困っていること (全体:複数回答)



2 医療の状況について

(1) 現在治療中の病気の有無（問1）

現在治療中の病気の有無は、「ある」が89.9%と約9割、「ない」が7.1%となっている。

要介護度別にみると、「ある」は要介護4と5で85%程度で他の要介護度に比べ、若干低率になっている。（図表4-2-1）

図表4-2-1 現在治療中の病気の有無（全体、年代別、要介護度別）

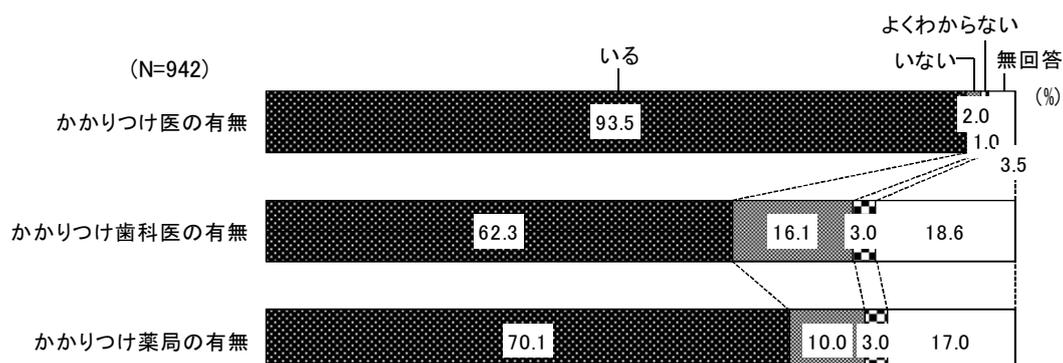
		(%)		
		ある	ない	無回答
全 体 (N= 942)		89.9	7.1	3.0
年 代 別	65～74歳 (n= 129)	93.8	3.9	2.3
	75～84歳 (n= 389)	92.8	4.6	2.6
	85歳以上 (n= 416)	86.8	10.6	2.6
要 介 護 度 別	要 支 援 1 (n= 130)	93.8	3.8	2.3
	要 支 援 2 (n= 128)	87.5	6.3	6.3
	要 介 護 1 (n= 214)	93.0	6.1	0.9
	要 介 護 2 (n= 173)	93.1	6.4	0.6
	要 介 護 3 (n= 134)	91.0	7.5	1.5
	要 介 護 4 (n= 75)	85.3	13.3	1.3
	要 介 護 5 (n= 58)	84.5	13.8	1.7
	わからない (n= 12)	75.0	8.3	16.7

(2) かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無（問2）

かかりつけ医の有無は、「いる」が93.5%、「いない」が2.0%となっている。

かかりつけ歯科医の有無は、「いる」が62.3%、「いない」が16.1%となっている。かかりつけ薬局の有無は、「いる」が70.1%、「いない」が10.0%となっている。〔前回：かかりつけ医、歯科医、薬局ともに同傾向〕（図表4-2-2）

図表4-2-2 かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局の有無（全体）

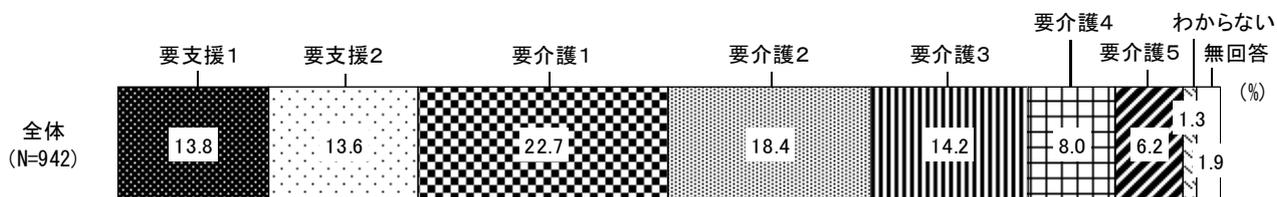


3 介護保険について

(1) 要介護度 (問3)

要介護度は、「要支援1」が13.8%、「要支援2」が13.6%、「要介護1」が22.7%、「要介護2」が18.4%、「要介護3」が14.2%、「要介護4」が8.0%、「要介護5」が6.2%となっている。〔前回:「要支援1」16.0%、「要支援2」13.9%、「要介護1」20.8%、「要介護2」17.8%、「要介護3」12.5%、「要介護4」10.4%、「要介護5」6.6%とほぼ同傾向〕(図表4-3-1)

図表4-3-1 要介護度 (全体)



(2) 保険料段階 (問4)

保険料段階は、無回答を除いて最も多いのは「4段階 (3.1%)」である。次いで「2段階 (2.8%)」、「3段階 (2.0%)」となっている。(図表4-3-2)

図表4-3-2 保険料段階 (全体)

	0段階	1段階	2段階	3段階	4段階	5段階	6段階	7段階	8段階	9段階	10段階	11段階	12段階	13段階	わからない・無回答
全体 (N=942)	0.1	1.7	2.8	2.0	3.1	0.6	1.2	1.9	0.1	0.1	0.0	0.0	0.1	0.1	86.2

(3) 1か月の介護保険サービス利用料 (問5)

1か月の介護保険サービス利用料は、「4,970円未満 (23.4%)」が最も多く、「4,970円以上、10,400円未満 (14.9%)」、「10,400円以上、16,580円未満 (9.6%)」が続いている。(図表4-3-3)

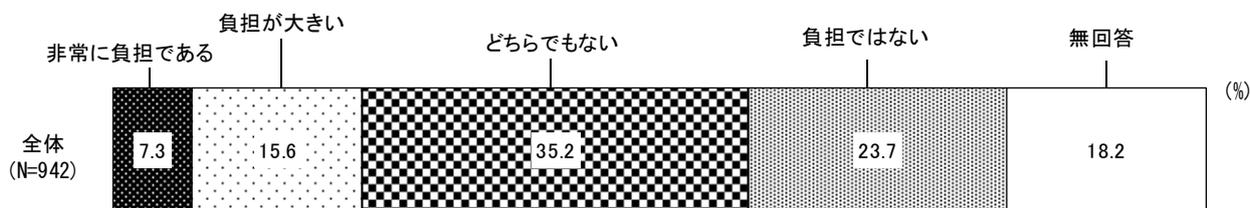
図表4-3-3 1か月の介護保険サービス利用料 (全体)

	4 9 7 0 円 未 満	1 4 0 9 4 7 0 0 円 以 上 、	1 1 6 0 5 4 8 0 円 未 満 、	1 1 9 6 4 5 8 8 円 未 満 、	2 1 6 9 7 4 5 8 円 未 満 、	3 2 0 6 6 7 0 5 円 未 満 、	3 3 5 0 8 6 3 0 円 未 満 、	無 回 答
全 体 (N=942)	23.4	14.9	9.6	2.4	7.2	4.6	2.2	35.8

(4) 利用料を負担に感じる程度 (問6)

利用料を負担に感じる程度は、「非常に負担である」は7.3%、「負担が大きい」は15.6%で合わせて22.9%が負担を感じると答えている。また、「どちらでもない」は35.2%、「負担ではない」は23.7%となっている。(図表4-3-4)

図表4-3-4 利用料を負担に感じる程度 (全体)



(5) 可能な負担額 (問7)

可能な負担額は、「10,000円以上、20,000円未満 (16.2%)」が最も多く、「5,000円未満 (9.4%)」、「5,000円以上、10,000円未満 (9.0%)」が続いている。(図表4-3-5)

図表4-3-5 可能な負担額 (全体)

	5 0 0 0 円 未 満	1 5 0 0 0 0 0 0 円 以 上 、	2 1 0 0 0 0 0 0 円 未 満 、	3 2 0 0 0 0 0 0 円 未 満 、	4 3 0 0 0 0 0 0 円 未 満 、	5 4 0 0 0 0 0 0 円 未 満 、	6 5 0 0 0 0 0 0 円 未 満 、	6 0 0 0 円 以 上	無 回 答
全 体 (N=942)	9.4	9.0	16.2	7.7	4.9	1.9	2.9	3.6	44.3

(6) 介護保険サービスの利用状況 (問8)

介護保険サービスの利用状況は、「通所介護 (デイサービス) (38.3%)」が最も多く、「訪問介護 (27.7%)」、「福祉用具の貸与 (24.6%)」、「通所リハビリテーション (デイケア) (16.9%)」、「住宅改修費の支給 (11.3%)」が続き、以下は1割未満となっている。〔前回：「福祉用具の貸与」19.3%以外、ほぼ同傾向〕

地区別にみると、第二地区では「通所介護 (デイサービス)」、第五地区では「福祉用具の貸与」、第六地区では「通所リハビリテーション (デイケア)」が他の地区に比べ多くなっている。また、第四地区では「訪問介護」が多く、逆に「通所介護 (デイサービス)」と「福祉用具の貸与」が他の地区に比べ多くなっている。

要介護度別にみると、ほとんどのサービスで、要介護度が重くなると高率になっているが、「訪問介護」と「通所リハビリテーション (デイケア)」は、要介護度が軽い人ほど利用割合が高くなっている。(図表4-3-6)

図表4-3-6 介護保険サービスの利用状況 (全体：複数回答)

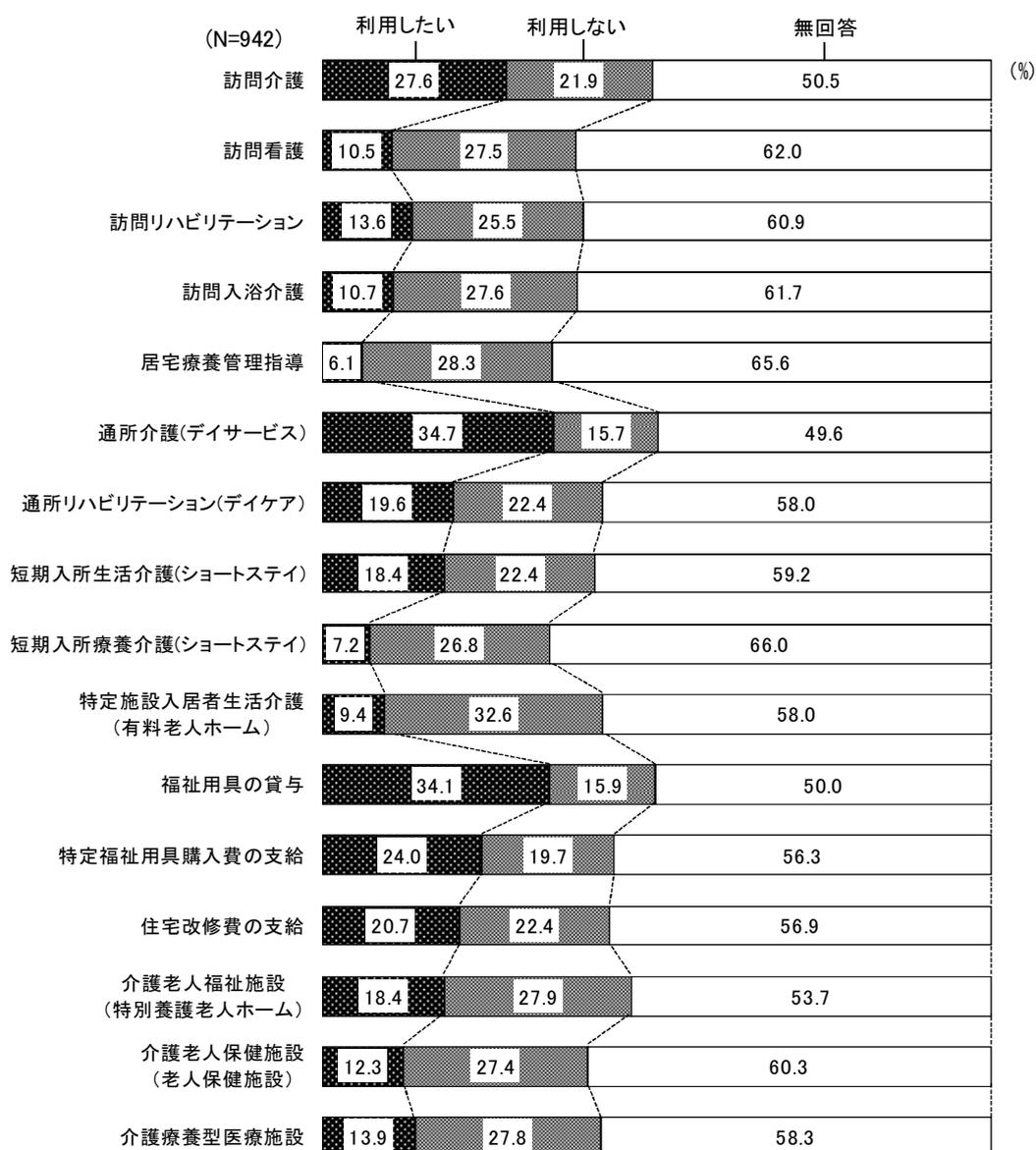
		(通所介護 デイサービス)	訪問介護	福祉用具の貸与	(通所リハビリ テーション)	住宅改修費の支給	訪問リハビリ テーション	(短期入所生活 介護 ショートステイ)	訪問看護	訪問入浴 介護	特定福祉 用具購入費の 支給	(特定施設入 居者生活 介護 有料老人ホーム など)	(短期入所療 養介護 ショートステイ)	居宅療養 管理指導	無 回 答
全	体 (N= 942)	38.3	27.7	24.6	16.9	11.3	9.0	8.8	6.3	6.3	4.6	4.0	2.8	2.2	17.3
地 区 別	第一地区 (n= 169)	42.0	29.6	27.8	18.3	11.2	7.1	8.9	6.5	5.9	5.9	3.6	3.6	3.0	14.8
	第二地区 (n= 176)	44.3	24.4	25.6	20.5	11.4	11.4	6.8	4.5	8.5	5.1	5.7	1.7	2.3	13.6
	第三地区 (n= 178)	39.3	29.8	20.2	15.7	10.1	7.9	9.0	4.5	5.1	5.1	0.6	2.8	1.7	21.3
	第四地区 (n= 124)	30.6	33.9	14.5	12.1	8.9	6.5	7.3	9.7	6.5	3.2	4.0	4.0	2.4	17.7
	第五地区 (n= 117)	37.6	29.1	35.0	13.7	12.0	12.8	11.1	8.5	11.1	5.1	0.9	1.7	2.6	16.2
	第六地区 (n= 133)	36.8	25.6	29.3	22.6	14.3	9.8	10.5	6.0	3.0	2.3	4.5	3.8	2.3	13.5
(要 介 護 度 別)	要支援者 (n= 258)	22.1	32.2	10.9	22.9	6.2	3.1	0.4	3.1	1.2	0.0	0.4	0.4	0.4	19.8
	軽度者 (n= 387)	45.2	26.9	24.3	17.1	11.9	7.8	8.8	4.1	4.7	4.7	2.3	1.8	1.3	14.5
	中重度者 (n= 267)	47.6	25.8	40.8	12.7	16.1	17.6	18.0	13.1	14.2	9.4	10.5	6.7	5.6	12.0
	わからない (n= 12)	16.7	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0

※要介護度別(3区分):要支援者:要支援1~2の合計、軽度者:要介護1~2の合計、中重度者:要介護3~5の合計

(7) 介護保険サービスの利用意向（問9）

介護保険サービスについて「利用したい」の割合は、『通所介護（デイサービス）（34.7%）』が最も多く、『福祉用具の貸与（34.1%）』、『訪問介護（27.6%）』、『特定福祉用具購入費の支給（24.0%）』、『住宅改修費の支給（20.7%）』が続いている。〔前回：『訪問介護（生活援助主体）』30.0%、『通所介護（デイサービス）』27.4%、『福祉用具の貸与』23.2%、『通所リハビリテーション（デイケア）』21.5%、『訪問介護（身体介護主体）』20.7%〕（図表4-3-7）

図表4-3-7 介護保険サービスの利用意向（全体）

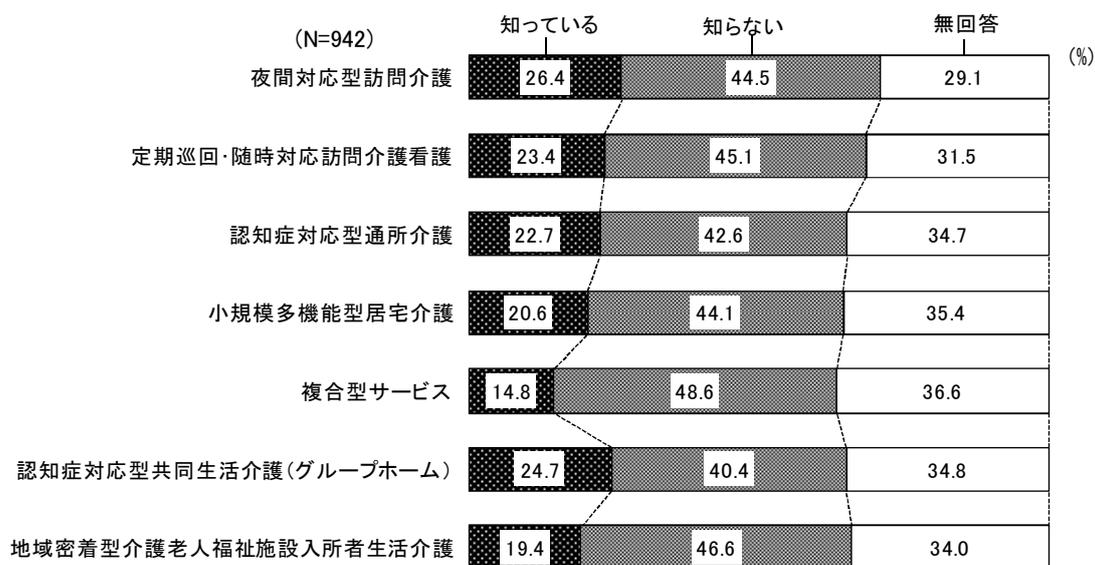


(8) 地域密着型サービス (問 10)

①地域密着型サービスの認知度

地域密着型サービスについて「知っている」の割合は、『夜間対応型訪問介護 (26.4%)』が最も多く、『認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) (24.7%)』、『定期巡回・随時対応訪問介護看護 (23.4%)』が続いている。(図表4-3-8-①)

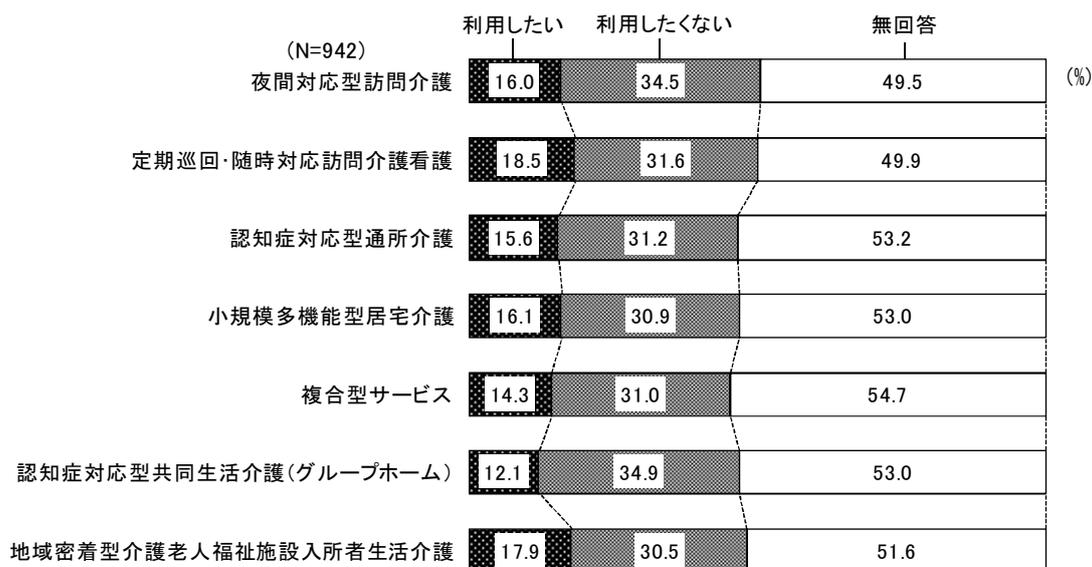
図表4-3-8-① 地域密着型サービスの認知度 (全体)



②地域密着型サービスの利用意向

地域密着型サービスについて「利用したい」の割合は、『定期巡回・随時対応訪問介護看護（18.5%）』が最も多く、『地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護（17.9%）』、『小規模多機能型居宅介護（16.1%）』、『夜間対応型訪問介護（16.0%）』が続いている。（図表4-3-8-②）

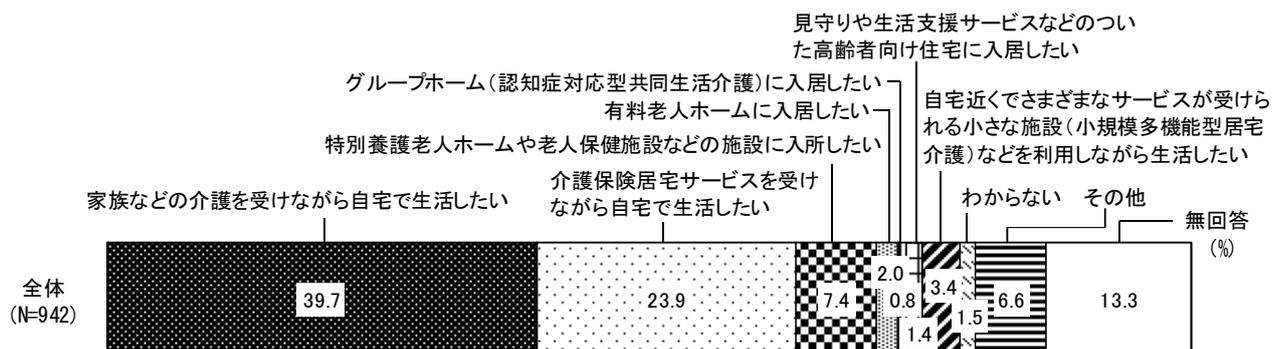
図表4-3-8-② 地域密着型サービスの利用意向（全体）



(9) 今後生活したいところ（問11）

今後生活したいところは、「家族等の介護を受けながら自宅で生活したい（39.7%）」が最も多く、「介護保険居宅サービスを受けながら自宅で生活したい（23.9%）」、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい（7.4%）」が続いている。〔前回：「介護保険居宅サービスを受けながら自宅で」37.6%、「家族等の介護を受けながら自宅で生活」30.2%、「特別養護老人ホーム等の施設に入所」9.8%〕（図表4-3-9）

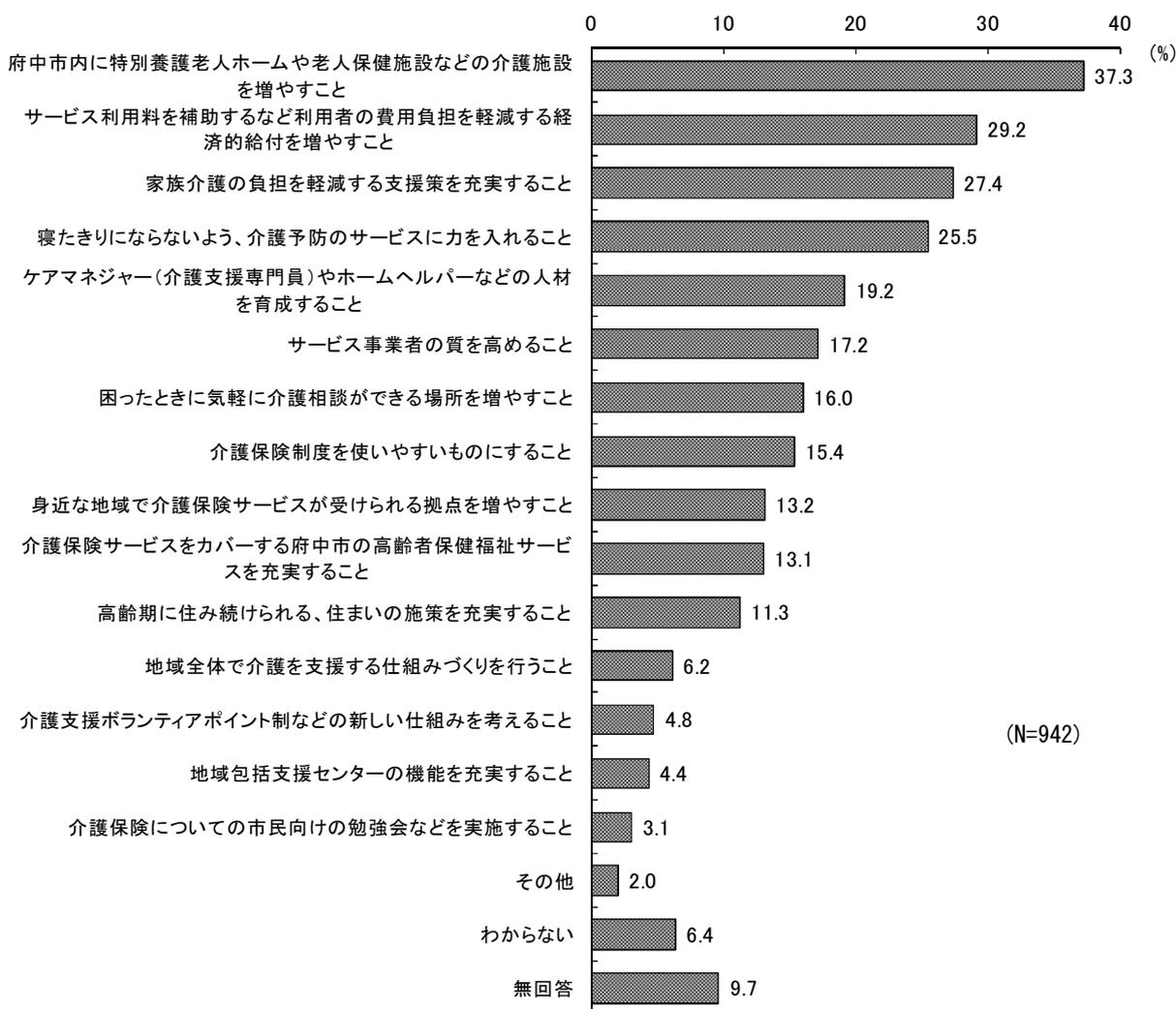
図表4-3-9 今後生活したいところ（全体）



(10) 介護保険制度をよりよくするために府中市が力を入れるべきこと（問12）

介護保険制度をよりよくするために府中市が力を入れるべきことは、「府中市内に特別養護老人ホームや老人保健施設などの介護施設を増やすこと（37.3%）」が最も多く、「サービス利用料を補助するなど利用者の費用負担を軽減する経済的給付を増やすこと（29.2%）」、「家族介護の負担を軽減する支援策を充実すること（27.4%）」、「寝たきりにならないよう、介護予防のサービスに力を入れること（25.5%）」が続いている。（図表4-3-10）

図表4-3-10 介護保険制度をよりよくするために府中市が力を入れるべきこと
（全体：複数回答（3つまで））



4 利用者本位のサービスのあり方について

(1) 要介護1～5の人の現在のケアプラン

①現在のケアプランの満足度（問13）

要介護1～5の人の現在のケアプランの満足度は、《満足》（「満足している」と「やや満足している」の合計）が61.5%、《不満》（「不満している」と「やや不満である」の合計）が7.6%となっている。〔前回：《満足》58.5%、《不満》10.3%〕（図表4-4-1-①）

図表4-4-1-① 現在のケアプランの満足度（全体）

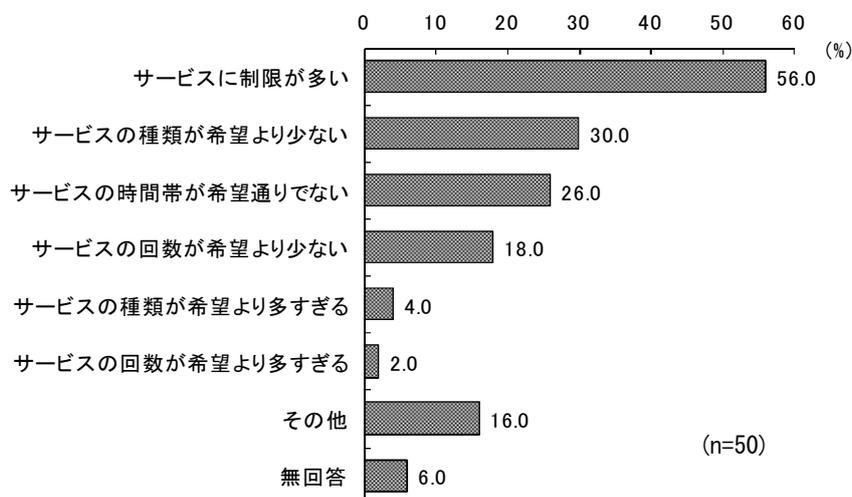


②ケアプランの不満の内容（問13-1）

現在のケアプランに《不満》がある人に、その内容をたずねたところ、「サービスに制限が多い（56.0%）」が最も多く、「サービスの種類が希望より少ない（30.0%）」、「サービスの時間帯が希望通りでない（26.0%）」が続いている。〔前回：「サービスに制限が多い」57.6%、「サービスの回数が少ない」28.8%、「サービスの種類が少ない」19.7%が上位3項目〕（図表4-4-1-②）

図表4-4-1-② ケアプランの不満の内容（全体：複数回答）

<現在のケアプランに不満がある人>



(2) 要支援1～2の人の現在の介護予防プラン（問14）

①現在の介護予防プランの満足度（問14）

要支援1～2の人の現在の介護予防プランの満足度は、《満足》（「満足している」と「やや満足している」の合計）が51.9%と半数を超えている、《不満》（「不満している」と「やや不満である」の合計）が10.5%となっている。〔前回：《満足》52.5%、《不満》14.6%〕（図表4-4-2-①）

図表4-4-2-① 現在の介護予防プランの満足度（全体）

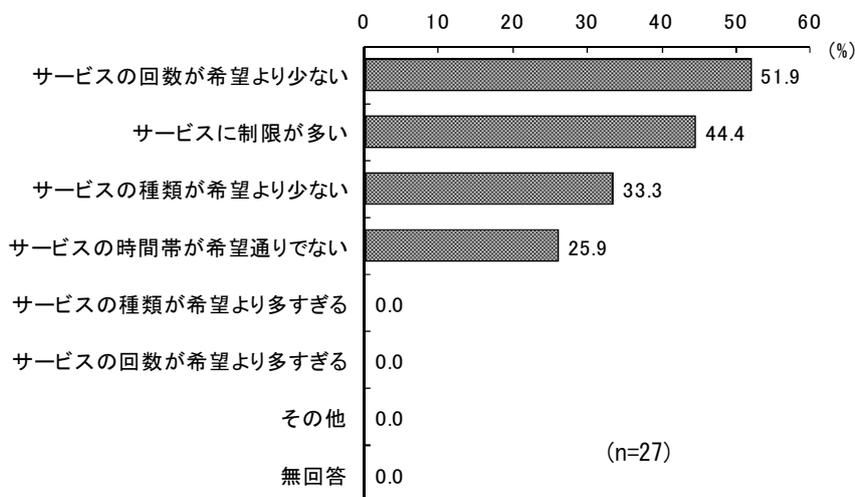


②介護予防プラン不満の内容（問14-1）

現在の介護予防プランに《不満》がある人に、その内容をたずねたところ、「サービスの回数が希望より少ない（51.9%）」が最も多く、「サービスに制限が多い（44.4%）」、「サービスの種類が希望より少ない（33.3%）」が続いている。〔前回：「サービスに制限が多い」58.5%、「サービスの種類が少ない」39.0%、「サービスの回数が少ない」29.3%〕（図表4-4-2-②）

図表4-4-2-② 介護予防プランの不満の内容（全体：複数回答）

<現在の介護予防プランに不満がある人>



(3) ケアマネジャーに対する満足度 (問 15)

ケアマネジャーに対する満足度は、《満足》(「満足している」と「やや満足している」の合計)が63.3%と6割を超えている。《不満》(「不満している」と「やや不満である」の合計)が5.9%となっている。[前回:《満足》60.1%、《不満》6.3%] (図表4-4-3)

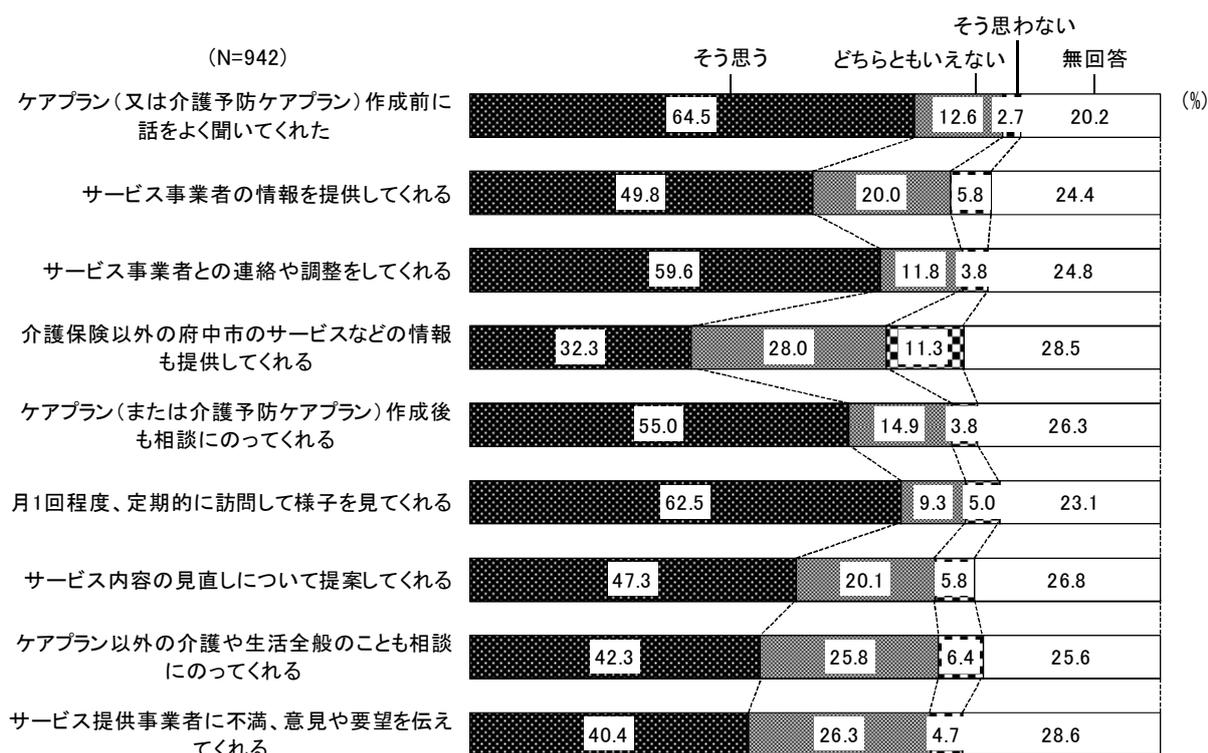
図表4-4-3 ケアマネジャーに対する満足度 (全体)



(4) ケアマネジャーについての評価 (問 16)

ケアマネジャーについての評価で「そう思う」の割合は、『ケアプラン (または介護予防プラン) 作成前に話をよく聞いた (64.5%)』、『月1回程度、定期的に訪問して様子を見てくれる (62.5%)』がともに6割を超えて高く、『サービス事業者との連絡や調整をしてくれる (59.6%)』、『ケアプラン (または介護予防プラン) 作成後も相談にのってくれる (55.0%)』、『サービス事業者の情報を提供してくれる (49.8%)』が続いている。[前回:「そう思う」が5割を超えているのは、『ケアプラン作成前に話をよく聞いてくれた』62.7%、『月1回程度定期的に訪問してしてくれる』57.8%、『サービス事業者との連絡や調整をしてくれる』56.7%、『ケアプラン作成後も相談にのってくれる』53.5%] (図表4-4-4)

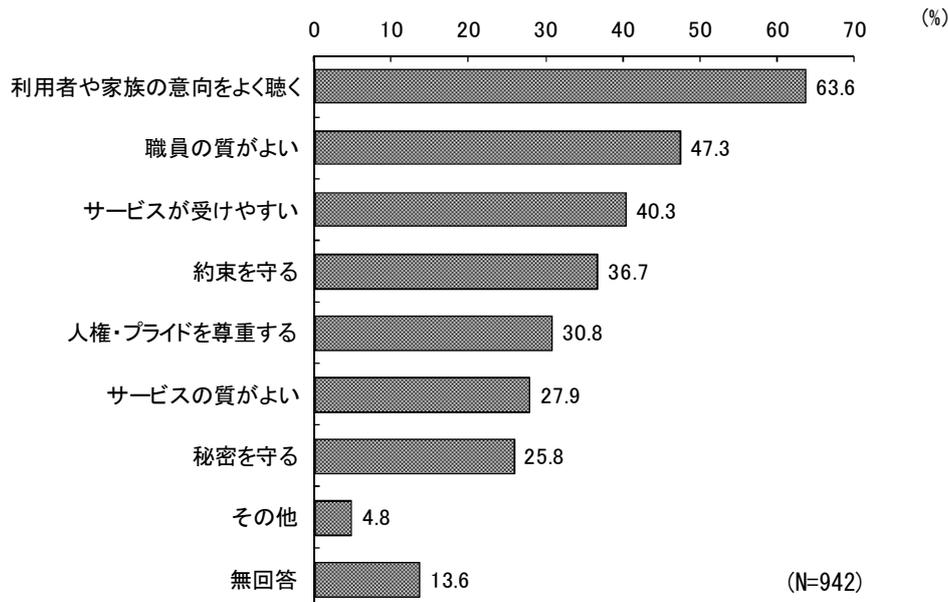
図表4-4-4 ケアマネジャーについての評価 (全体)



(5) 介護サービス提供事業者を評価する点 (問 17)

介護サービス提供事業者を評価する点は、「利用者や家族の意向をよく聴く (63.6%)」が最も多く、「職員の質がよい (47.3%)」、「サービスが受けやすい (40.3%)」が続いている。〔前回：ほぼ同傾向〕 (図表 4-4-5)

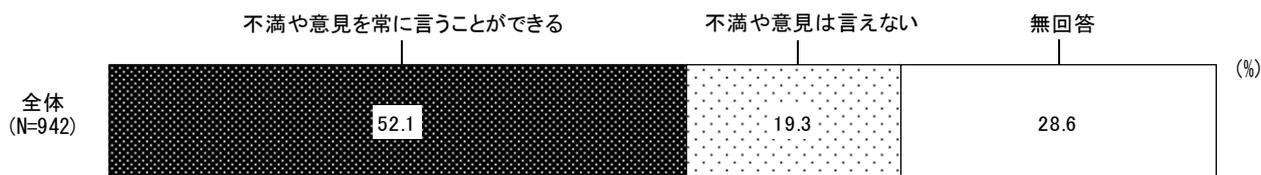
図表 4-4-5 介護サービス提供事業者を評価する点 (全体：複数回答)



(6) 介護サービス事業者への不満や苦情を訴えることができるか (問 18)

介護サービス事業者への不満や苦情を訴えることができるかは、「不満や意見を常に言うことができる」が 52.1%と過半数を占めている。また、「不満や意見は言えない」が 19.3%となっている。〔前回：ほぼ同傾向〕 (図表 4-4-6)

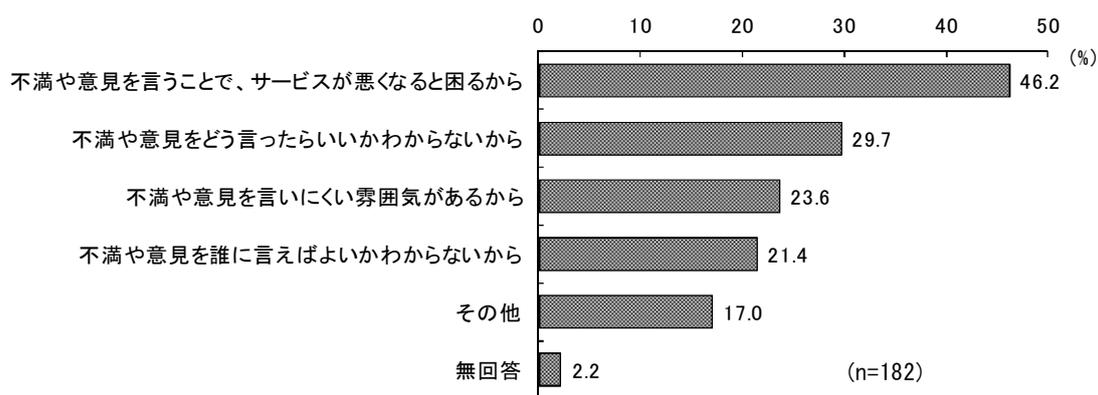
図表 4-4-6 介護サービス事業者への不満や苦情を訴えることができるか (全体)



(7) 不満や意見を言えない理由 (問 18-1)

事業者に不満や意見は言えないと回答した人に、不満や意見を言えない理由をたずねたところ、「不満等言うことで、サービスが悪くなると困るから (46.2%)」が最も多く、「不満や意見をどう言ったらいいかわからないから (29.7%)」、「不満や意見を言いにくい雰囲気があるから (23.6%)」が続いている。〔前回：ほぼ同傾向〕 (図表 4-4-7)

図表 4-4-7 不満や意見を言えない理由 (全体：複数回答)

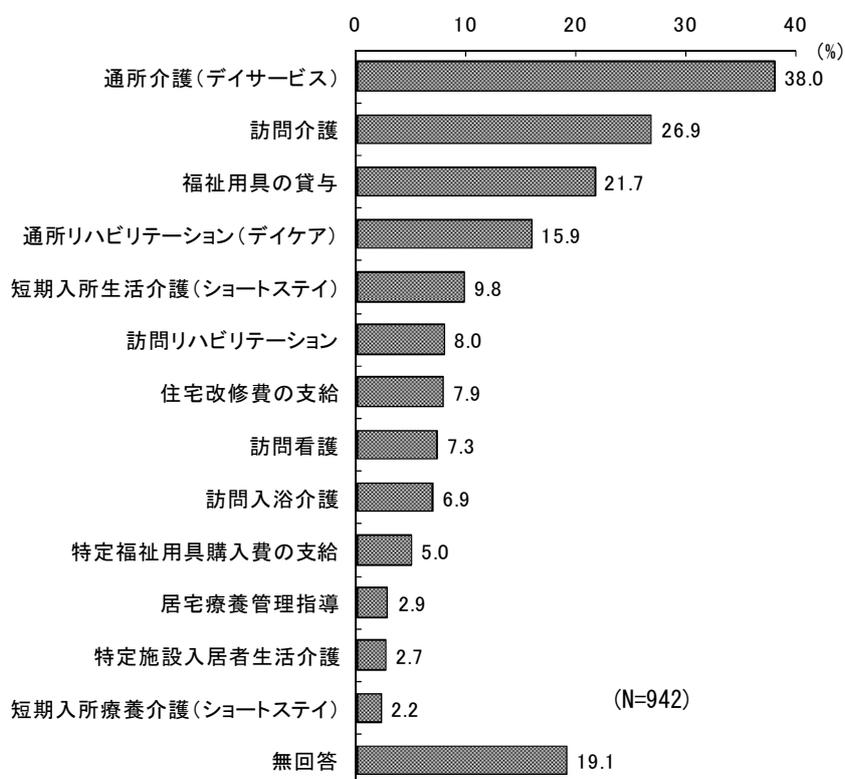


5 介護保険サービスの満足度について

(1) 利用しているサービス (問 19)

利用しているサービスは、「通所介護 (デイサービス) (38.0%)」が最も多く、「訪問介護 (26.9%)」、「福祉用具の貸与 (21.7%)」、「通所リハビリテーション (デイケア) (15.9%)」と続き、以下は1割に満たない。〔前回:「通所介護 (デイサービス)」31.7%、「訪問介護 (生活援助主体)」27.0%、「福祉用具の貸与」24.6%、「通所リハビリテーション (デイケア)」19.3%〕 (図表4-5-1)

図表4-5-1 利用しているサービス (全体:複数回答)

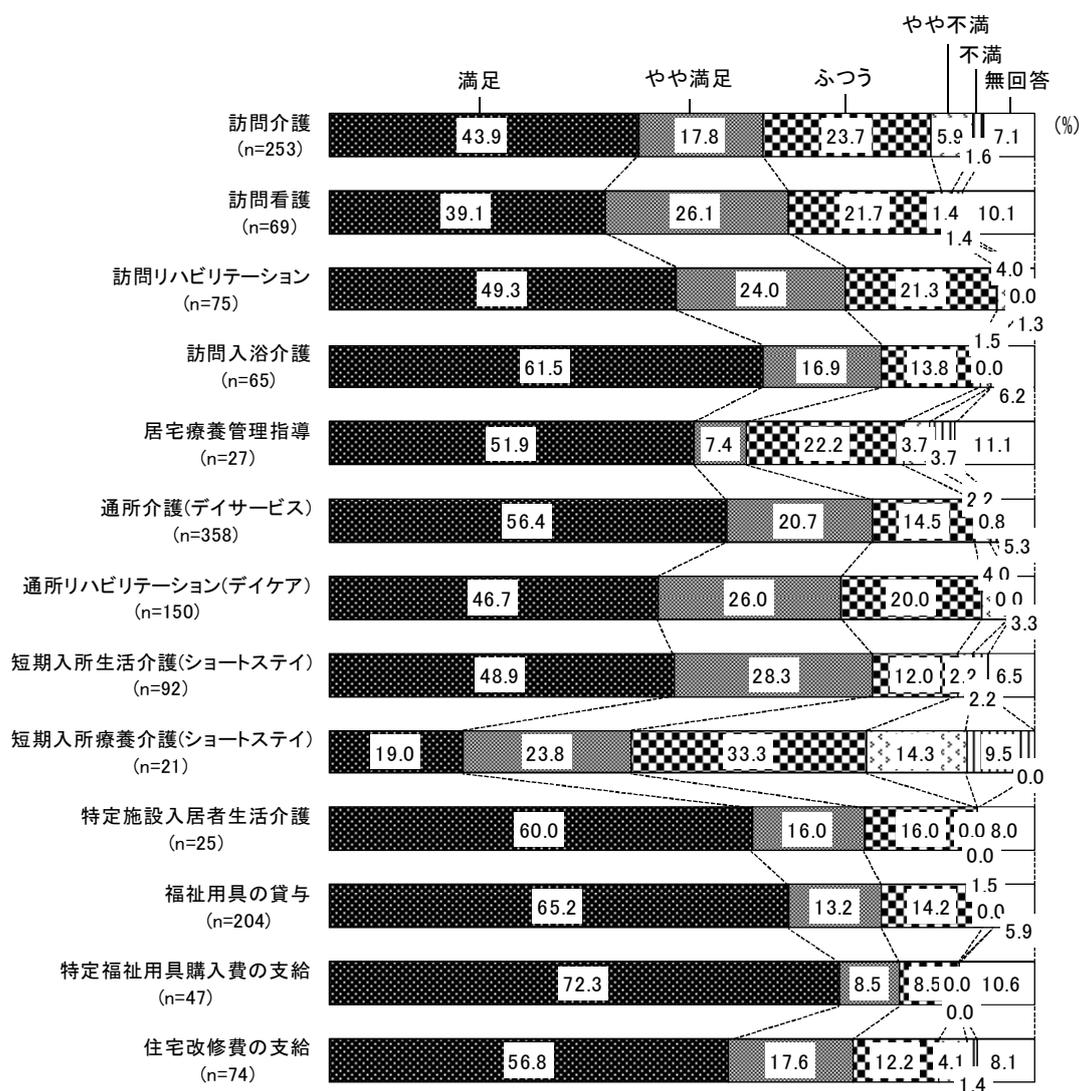


(2) 介護保険サービスの満足度 (問 19)

介護保険サービスの満足度について、「満足」の割合は、『特定福祉用具購入費の支給 (72.3%)』が最も高く、『福祉用具の貸与 (65.2%)』、『訪問入浴介護 (61.5%)』、『特定施設入居者生活介護 (60.0%)』が続いている。

「やや不満」の割合が高いのは『短期入所療養介護 (ショートステイ) (14.3%)』である。
(図表 4-5-2)

図表 4-5-2 介護保険サービスの満足度 (全体)



(3) 介護保険サービスを利用してからの生活環境の変化 (問 20)

介護保険サービスを利用してからの生活環境の変化は、「改善した (27.0%)」と「やや改善した (36.2%)」を合計すると、63.2%と6割強となっている。〔前回:「改善した」22.8%、「やや改善した」32.6%、合計は55.4%〕

年代別にみると、各年代ではほぼ同傾向となっているが、「改善した」は、年代が上がるに従い高率になっており、65～74歳では22.5%に対し85歳以上では31.5%と3割を超えている。「やや改善した」は、年代が上がるに従い低くなっている。

要介護度別にみると、「改善した」は要介護5で37.9%と4割近くを占め他の要介護度に比べ高い。「やや改善した」は、要介護1と要介護2でともに4割を超え高くなっている。(図表4-5-3)

図表4-5-3 介護保険サービスを利用してからの生活環境の変化
(全体、年代別、要介護度別)

(%)

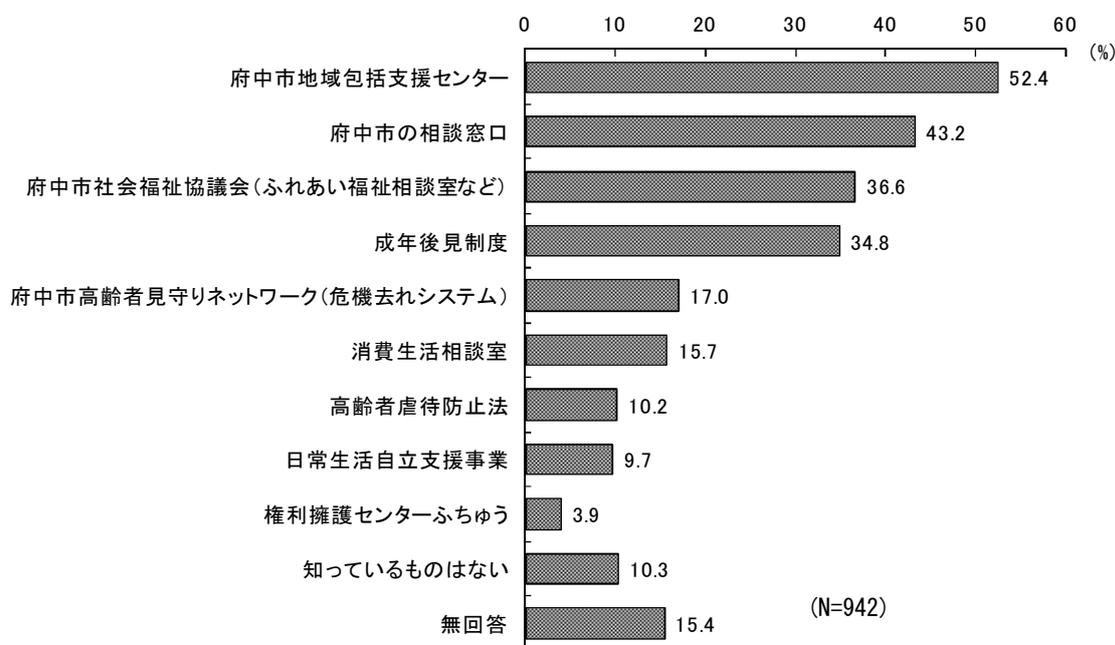
		改善した	やや改善した	変 以 わ 前 ら と あ ま り	悪 く な っ た	無 回 答
全	体 (N= 942)	27.0	36.2	19.4	1.7	15.7
年 代 別	65～74歳 (n= 129)	22.5	41.9	20.2	0.0	15.5
	75～84歳 (n= 389)	23.9	38.3	20.3	1.5	15.9
	85歳以上 (n= 416)	31.5	32.9	18.8	2.4	14.4
要 介 護 度 別	要支援1 (n= 130)	22.3	37.7	20.0	0.0	20.0
	要支援2 (n= 128)	25.8	34.4	20.3	2.3	17.2
	要介護1 (n= 214)	26.6	41.6	20.1	0.0	11.7
	要介護2 (n= 173)	27.2	41.0	19.1	0.6	12.1
	要介護3 (n= 134)	32.1	32.1	18.7	3.7	13.4
	要介護4 (n= 75)	29.3	33.3	20.0	5.3	12.0
	要介護5 (n= 58)	37.9	29.3	17.2	5.2	10.3
	わからない (n= 12)	0.0	0.0	33.3	0.0	66.7

6 高齢者の権利擁護などについて

(1) 高齢者の権利や生活を守るための知っている制度や相談窓口（問21）

高齢者の権利や生活を守るための知っている制度や相談窓口は、「府中市地域包括支援センター（52.4%）」が最も多く、「府中市の相談窓口（43.2%）」、「府中市社会福祉協議会（ふれあい福祉相談室など）（36.6%）」、「成年後見制度（34.8%）」が続いている。〔前回：「府中市の相談窓口」50.7%、「府中市地域包括支援センター・在宅介護支援センター」50.1%、「成年後見制度」33.0%、「社会福祉協議会（ふれあい福祉相談室など）」30.5%で、以下はほぼ同傾向〕（図表4-6-1）

図表4-6-1 高齢者の権利や生活を守るための知っている制度や相談窓口（全体：複数回答）

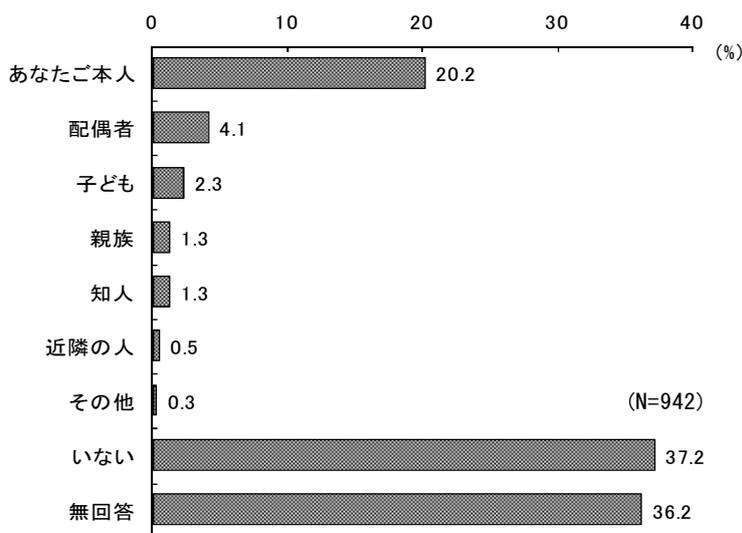


(2) 周囲で困っている人（本人を含む）

①周囲で困っている人（本人を含む）（問22）

周囲で困っている人（本人を含む）は、最も多いのは「いない（37.2%）」である。困っている人は、「あなたご本人（20.2%）」、「配偶者（4.1%）」となっている。〔前回：ほぼ同傾向〕（図表4-6-2-①）

図表4-6-2-① 周囲で困っている人（本人を含む）（全体：複数回答）

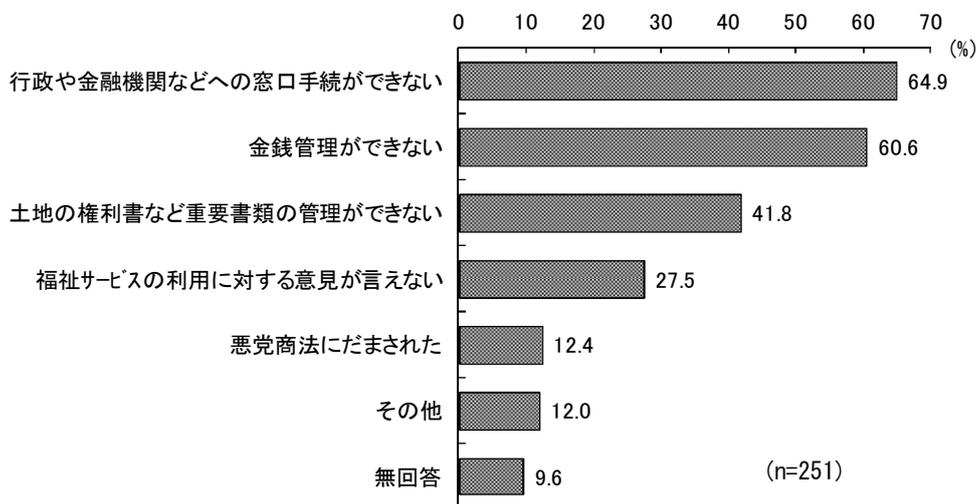


②困っていること（問22-1）

困っている人がいると回答した人に、困っていることをたずねたところ、「行政や金融機関への窓口手続きができない（64.9%）」が最も多く、「金銭管理ができない（60.6%）」、「土地の権利書など重要書類の管理ができない（41.8%）」が続いている。〔前回：ほぼ同傾向〕（図表4-6-2-②）

図表4-6-2-② 困っていること（全体：複数回答）

<困っている人がいると回答した人>



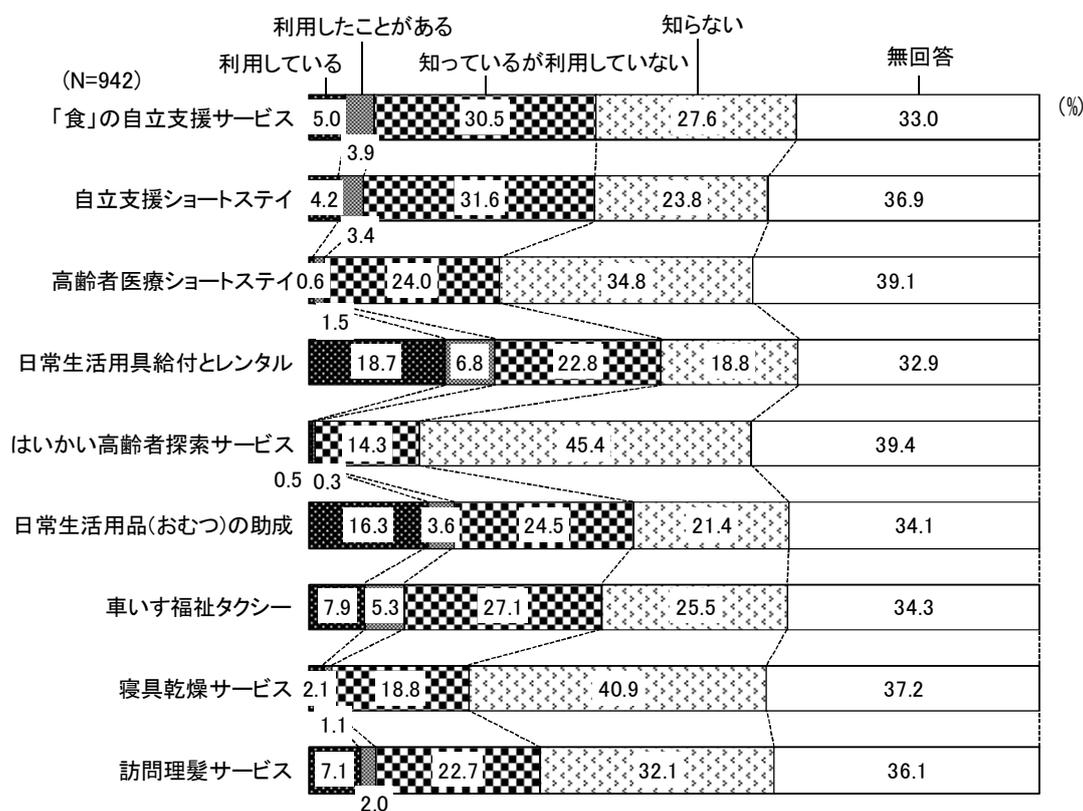
7 高齢者保健福祉サービスについて

(1) 高齢者保健福祉サービスの利用（問23）

① 高齢者保健福祉サービスの利用状況

高齢者保健福祉サービスの利用状況について「利用している」の割合は、『日常生活用具給付とレンタル（18.7%）』が最も高く、『日常生活用品（おむつ）の助成（16.3%）』が続いている。一方、「知らない」の割合が高いのは、『はいかい高齢者探索サービス（45.4%）』となっている。〔前回：「利用している」割合は、『日常生活用具給付とレンタル』18.6%、『日常生活用品（おむつ）の助成』17.4%、『車いす福祉タクシー』8.8%〕（図表4-7-1-①）

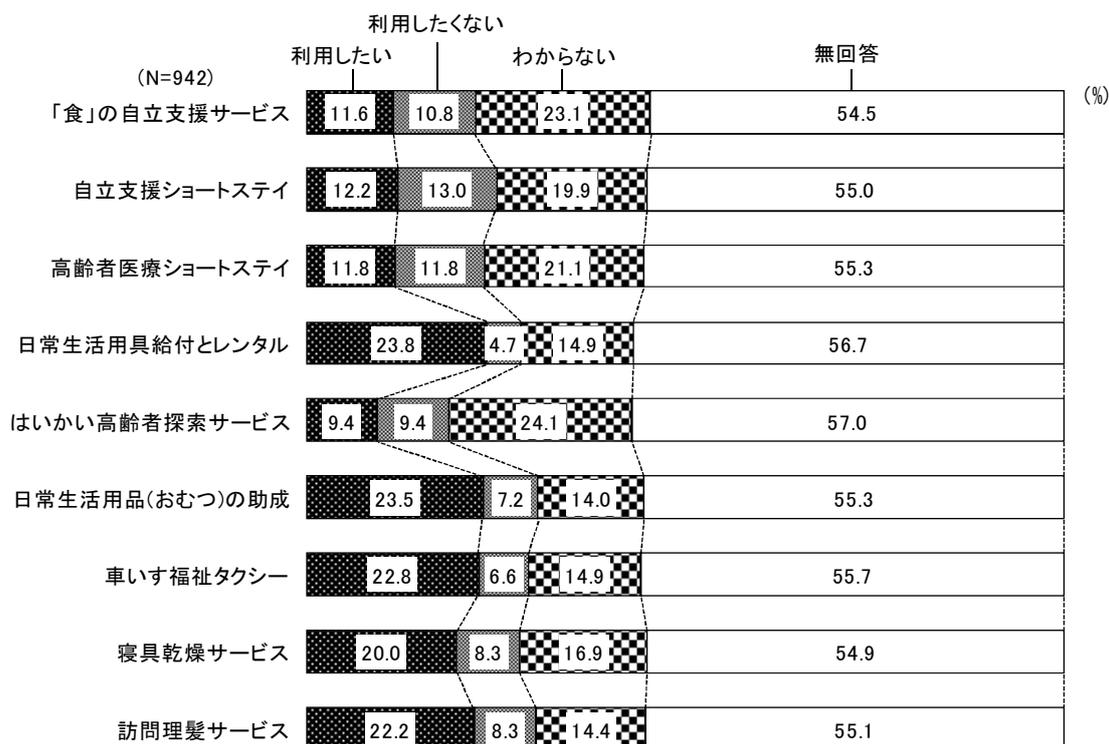
図表4-7-1-① 高齢者保健福祉サービスの利用状況（全体）



②高齢者保健福祉サービスの利用意向

高齢者保健福祉サービスの利用意向について「利用したい」の割合は、『日常生活用具給付とレンタル（23.8%）』が最も高く、『日常生活用品（おむつ）の助成（23.5%）』、『車いす福祉タクシー（22.8%）』、『訪問理髪サービス（22.2%）』が続いている。〔前回：「利用したい」割合は、『車いす福祉タクシー』28.1%、『日常生活用具給付とレンタル』26.8%、『訪問理髪サービス』26.8%〕（図表4-7-1-②）

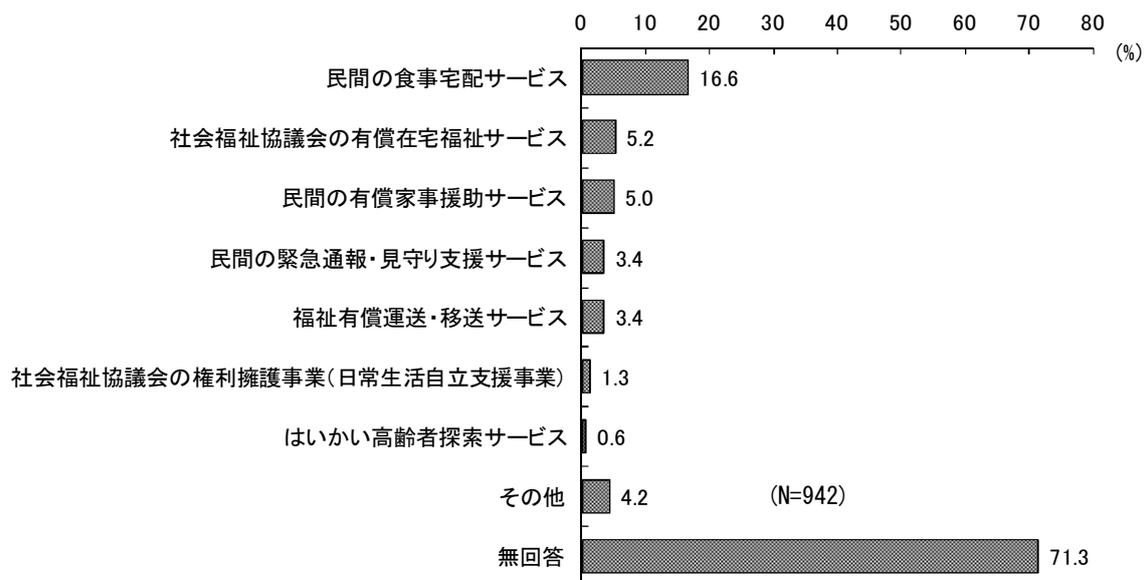
図表4-7-1-② 高齢者保健福祉サービスの利用意向（全体）



(2) 民間サービスの利用状況 (問 24)

民間サービスの利用状況は、「民間の食事宅配サービス (16.6%)」が最も多くなっている。
(図表 4-7-2)

図表 4-7-2 民間サービスの利用状況 (全体：複数回答)



8 災害時の対応について

(1) 災害対策のために自分の住所、氏名、連絡先などを事前通知することについて (問 25)

災害時の避難状況を確認するために、府中市役所、消防署、警察署や町内会・自治会に、自分の個人情報事前に知らせておくことについては、「名前や住所、連絡先などの最低限の情報は知らせてもよい (49.0%)」が半数を占め最も多く、「最低限の情報に加え、健康状態や家族の状況に関する情報を知らせてもよい」が 23.1%、「いずれの情報も知らせたくない」が 2.0%となっている。

年代別にみると、「最低限の情報に加え健康状態等情報もよい」は年代が上がるに従い低率になっている。

要介護度別にみると、「最低限の情報に加え健康状態等情報もよい」は要介護3で 34.3%と他の介護度に比べ若干高くなっている。(図表4-8-1)

図表4-8-1 災害対策のために自分の住所、氏名、連絡先などを事前通知することについて
(全体、年代別、要介護度別)

		よ最名 い低前 限や の住 情所 報、 は連 知絡 ら先 せな てど もの	情状最 報態低 をや限 知家の ら族情 せの報 て状に も況加 よにえ い関、 す健 る康	ない い ず れ の 情 報 も 知 ら せ た く	わ か ら な い	無 回 答
全	体 (N= 942)	49.0	23.1	2.0	9.1	16.7
年 代 別	65～74歳 (n= 129)	49.6	25.6	3.9	9.3	11.6
	75～84歳 (n= 389)	46.5	23.7	1.8	10.3	17.7
	85歳以上 (n= 416)	51.9	22.1	1.7	8.2	16.1
要 介 護 度 別	要支援1 (n= 130)	47.7	20.8	1.5	6.9	23.1
	要支援2 (n= 128)	55.5	18.0	1.6	8.6	16.4
	要介護1 (n= 214)	50.9	21.5	1.4	9.3	16.8
	要介護2 (n= 173)	49.7	24.3	2.9	11.0	12.1
	要介護3 (n= 134)	44.8	34.3	1.5	9.7	9.7
	要介護4 (n= 75)	54.7	24.0	4.0	6.7	10.7
	要介護5 (n= 58)	39.7	25.9	3.4	13.8	17.2
	わからない (n= 12)	50.0	0.0	0.0	8.3	41.7

(2) 「災害時要援護者事業」の認知度 (問 26)

「災害時要援護者事業」の認知度は、「事業の内容まで知っている」が 6.6%、「事業の名前を聞いたことがある」が 11.6%であり、「知らない」が 59.1%と約 6 割となっている。

年代別にみると、65～74 歳で「知らない」が 69.0%で特に高くなっている。

要介護度別にみると、要支援 2 と要介護 2 でともに「知らない」が 7 割近くを占めている。

(図表 4-8-2)

図表 4-8-2 「災害時要援護者事業」の認知度 (全体、年代別、要介護度別)

(%)

		事業の内容まで知っている	事業の名前を聞いたことがある	知らない	わからない	無回答
全	体 (N= 942)	6.6	11.6	59.1	9.9	12.8
年 代 別	65～74 歳 (n= 129)	7.8	9.3	69.0	7.0	7.0
	75～84 歳 (n= 389)	6.4	13.1	55.5	11.6	13.4
	85 歳以上 (n= 416)	6.5	10.8	60.3	9.4	13.0
要 介 護 度 別	要支援 1 (n= 130)	8.5	10.0	55.4	9.2	16.9
	要支援 2 (n= 128)	3.9	6.3	67.2	11.7	10.9
	要介護 1 (n= 214)	5.1	13.6	58.4	10.3	12.6
	要介護 2 (n= 173)	3.5	12.1	65.9	9.2	9.2
	要介護 3 (n= 134)	11.2	12.7	56.7	10.4	9.0
	要介護 4 (n= 75)	9.3	17.3	54.7	12.0	6.7
	要介護 5 (n= 58)	12.1	12.1	55.2	8.6	12.1
	わからない (n= 12)	0.0	8.3	50.0	0.0	41.7

(3) 災害時の不安や心配ごと (問 27)

災害時の不安や心配ごとは、「自分の歩行に不安があること (69.3%)」が最も多く、「食糧や日用品の備蓄が不十分なこと (33.3%)」、「避難所がはっきり分からないこと (28.6%)」、「老朽化など住まい (家屋) のこと (27.4%)」が続いている。

年代別にみると、「避難所がはっきり分からないこと」は年代が上がるに従い低率になるが、逆に「老朽化など住まい (家屋) のこと」は高率になっている。

地区別にみると、第六地区で「自分の歩行に不安があること」が 81.2% と高くなっている。

要介護度別にみると、要介護 2 で「自分の歩行に不安がある」が 79.2% で高くなっている。

(図表 4-8-3)

図表 4-8-3 災害時の不安や心配ごと
(全体、年代別、地区別、要介護度別：複数回答)

		自分の歩行に不安があること	食糧や日用品の備蓄が不十分なこと	避難所がはっきり分からないこと	老朽化など住まい (家屋) のこと	家具や家電の転倒対策が不十分なこと	同居の家族の歩行に不安があること	特に不安や心配ごとはない	その他	無回答
全	体 (N= 942)	69.3	33.3	28.6	27.4	24.7	12.6	3.6	3.6	11.1
年代別	65 ~ 74 歳 (n= 129)	72.1	27.9	31.0	21.7	25.6	6.2	3.1	3.9	7.0
	75 ~ 84 歳 (n= 389)	68.1	36.8	29.0	27.2	27.8	14.4	2.6	4.1	11.6
	85 歳以上 (n= 416)	70.2	32.2	27.9	29.6	21.9	13.0	4.8	3.1	11.1
地区別	第一地区 (n= 169)	69.8	29.0	33.1	30.8	24.9	11.8	1.8	5.9	8.9
	第二地区 (n= 176)	69.9	34.7	31.8	26.7	23.3	18.2	6.3	2.3	8.5
	第三地区 (n= 178)	66.3	35.4	24.7	33.7	24.2	9.0	2.8	3.9	11.2
	第四地区 (n= 124)	71.8	36.3	29.0	16.9	28.2	11.3	2.4	4.0	14.5
	第五地区 (n= 117)	71.8	34.2	23.1	23.1	24.8	12.8	3.4	5.1	8.5
	第六地区 (n= 133)	81.2	32.3	31.6	33.1	27.1	13.5	3.8	1.5	6.8
要介護度別	要支援 1 (n= 130)	70.0	38.5	26.9	25.4	24.6	11.5	2.3	3.1	10.8
	要支援 2 (n= 128)	72.7	28.9	34.4	24.2	21.1	10.9	6.3	0.8	10.2
	要介護 1 (n= 214)	66.4	34.1	30.8	32.2	28.0	13.1	3.7	4.7	11.2
	要介護 2 (n= 173)	79.2	36.4	28.3	30.1	27.7	11.6	2.9	2.9	6.4
	要介護 3 (n= 134)	73.1	35.8	28.4	25.4	23.9	12.7	3.0	4.5	9.0
	要介護 4 (n= 75)	70.7	26.7	28.0	29.3	21.3	20.0	1.3	1.3	6.7
	要介護 5 (n= 58)	56.9	32.8	20.7	24.1	27.6	12.1	5.2	8.6	13.8
	わからない (n= 12)	41.7	33.3	25.0	16.7	16.7	16.7	8.3	0.0	33.3

(4) 災害に備えて市民や企業等が協働で取り組むとよいと思うもの（問28）

災害に備えて市民や企業等が協働で取り組むとよいと思うものは、「地域住民どうしの声かけや安否確認（60.0%）」が最も多く、「地域独自のマニュアルや防災マップの作成（32.3%）」、「商店や会社による場の提供や備蓄品の提供など（30.7%）」が続いている。

年代別にみると、「地域住民どうしの声かけや安否確認」は年代が上がるに従い高率になっており、逆に「地域独自のマニュアルや防災マップの作成」と「地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実」では、年代が上がるに従い低率になっている。

地区別にみると、「地域独自のマニュアルや防災マップの作成」は第三地区で、「地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実」は第五地区と第六地区で、また、「住民たちで行う防災組織の活動の充実」も第六地区で他の地区に比べ低率となっている。

要介護度別にみると、要介護5では「地域独自のマニュアルや防災マップの作成」が低くなっている。要介護3では「地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実」と「住民たちで行う防災組織の活動の充実」が他の介護度に比べ高率となっている。（図表4-8-4）

図表4-8-4 災害に備えて市民や企業等が協働で取り組むとよいと思うもの
（全体、年代別、地区別、要介護度別：複数回答）

（%）

	や地域住民どうしの声かけや安否確認	地域独自の防災マップの作成	商店や備蓄品の提供など	地域ぐるみの実践的な防災訓練の充実	住民たちで行う防災組織の活動の充実	地域内外の団体等との交流	小・中学校の防災教育・訓練の充実	地域住民を対象とした防災講習会・学習会	その他	無回答	
全体 (N= 942)	60.0	32.3	30.7	21.0	19.1	14.5	13.5	10.8	2.4	24.1	
年代別	65～74歳 (n= 129)	55.8	34.9	34.9	24.0	17.8	14.7	14.7	8.5	0.8	25.6
	75～84歳 (n= 389)	56.8	33.2	28.5	22.1	20.3	16.5	12.6	12.6	3.1	24.9
	85歳以上 (n= 416)	64.9	31.0	32.0	19.5	18.8	13.0	14.2	10.1	2.4	21.9
地区別	第一地区 (n= 169)	61.5	34.9	28.4	25.4	19.5	12.4	14.8	14.8	3.0	20.1
	第二地区 (n= 176)	60.8	33.5	33.5	22.7	21.0	18.8	16.5	13.1	2.8	23.3
	第三地区 (n= 178)	60.1	24.7	32.0	20.8	16.3	13.5	12.4	9.0	1.1	25.3
	第四地区 (n= 124)	60.5	29.8	33.9	24.2	21.0	16.1	10.5	10.5	2.4	23.4
	第五地区 (n= 117)	61.5	35.9	33.3	17.1	23.1	12.8	12.8	10.3	4.3	23.9
	第六地区 (n= 133)	63.9	36.8	28.6	15.8	12.8	12.0	10.5	8.3	2.3	21.8
要介護度別	要支援1 (n= 130)	57.7	26.9	27.7	22.3	20.8	18.5	10.8	11.5	0.8	28.5
	要支援2 (n= 128)	58.6	36.7	35.2	24.2	18.0	18.0	11.7	10.9	2.3	23.4
	要介護1 (n= 214)	63.1	28.0	28.0	15.9	17.8	11.7	11.2	10.7	3.7	22.9
	要介護2 (n= 173)	63.6	35.3	31.2	19.1	13.3	9.8	14.5	8.7	3.5	19.1
	要介護3 (n= 134)	60.4	39.6	32.8	29.9	27.6	15.7	18.7	15.7	1.5	20.9
	要介護4 (n= 75)	66.7	36.0	33.3	22.7	17.3	17.3	12.0	10.7	2.7	18.7
	要介護5 (n= 58)	51.7	25.9	31.0	19.0	24.1	19.0	19.0	10.3	1.7	32.8
	わからない (n= 12)	50.0	25.0	33.3	16.7	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	33.3

(5) 災害対策として大切と思うこと (問 29)

災害対策として大切と思うことは、「防災グッズ (非常用食料、飲料水など) の準備 (59.6%)」が最も多く、「薬や貴重品等をすぐ持ち出せるよう準備 (50.0%)」、「避難場所・ルートの確認 (29.3%)」、「家具の固定、ガラス拡散対策 (26.2%)」が続いている。

年代別にみると、「防災グッズ (非常用食料、飲料水など) の準備」、「薬や貴重品等をすぐ持ち出せるよう準備」、「認知症の人や障害者の特性、支援方法などについての理解を深める」は年代が上がるに従い低率となっている。

地区別にみると、第四地区では「防災グッズ (非常用食料、飲料水など) の準備」、第三地区では「薬や貴重品等をすぐ持ち出せるよう準備」と「避難場所・ルートの確認」が他の地区に比べ低率になっている。

要介護度別にみると、要介護3では「薬や貴重品等をすぐ持ち出せるよう準備」が低く、要介護4では「認知症の人や障害者の特性、支援方法などについての理解を深める」が高くなっている。(図表4-8-5)

図表4-8-5 災害対策として大切と思うこと
(全体、年代別、地区別、要介護度別：複数回答 (3つまで))

(%)

	防災グッズ (非常用食料、飲料水など) の準備	薬や貴重品等をすぐ持ち出せるよう準備	避難場所・ルートの確認	家具の固定、ガラス拡散対策	日ごろの近所づきあいや町会活動などの地域との関わり	帳や支援が必須な方の緊急連絡先やカードを配布した防災手帳	支援方法などについての特理解、認知症の人や障害者の特性	災害時要援護者事業の対象としての登録	補聴器の電池など日常生活に係る消耗品の備蓄	防災訓練への参加	その他	無回答	
全体 (N= 942)	59.6	50.0	29.3	26.2	21.8	14.4	13.5	12.1	7.4	4.7	1.3	15.5	
年代別	65～74歳 (n= 129)	62.0	51.9	27.9	25.6	20.9	19.4	17.1	14.0	3.9	4.7	0.0	10.9
	75～84歳 (n= 389)	59.6	49.9	26.5	28.3	21.1	13.4	14.4	11.8	7.2	5.1	2.3	15.4
	85歳以上 (n= 416)	59.4	50.0	32.5	24.8	23.1	14.2	11.8	11.8	8.9	4.3	0.7	16.1
地区別	第一地区 (n= 169)	63.9	51.5	36.7	23.7	22.5	18.3	15.4	14.8	5.3	9.5	2.4	9.5
	第二地区 (n= 176)	62.5	55.7	30.7	29.5	22.2	14.8	12.5	12.5	9.1	4.5	0.6	13.1
	第三地区 (n= 178)	62.4	46.1	20.2	25.3	25.3	10.7	12.4	12.4	6.2	3.9	0.6	21.9
	第四地区 (n= 124)	50.8	54.0	26.6	23.4	20.2	12.1	12.1	14.5	8.1	3.2	0.8	15.3
	第五地区 (n= 117)	57.3	49.6	34.2	23.9	20.5	14.5	11.1	13.7	6.0	0.9	3.4	12.8
	第六地区 (n= 133)	63.2	52.6	30.1	34.6	20.3	16.5	18.0	3.8	9.8	5.3	0.8	12.8
要介護度別	要支援1 (n= 130)	58.5	50.0	33.8	26.2	26.2	12.3	6.2	11.5	8.5	8.5	0.8	19.2
	要支援2 (n= 128)	66.4	64.8	25.8	23.4	29.7	18.0	8.6	7.8	8.6	4.7	0.8	11.7
	要介護1 (n= 214)	59.8	50.9	25.7	29.0	18.7	11.7	9.8	14.5	7.5	2.8	0.5	15.4
	要介護2 (n= 173)	60.1	48.0	29.5	28.3	19.1	16.8	17.3	15.0	8.7	5.8	1.2	13.3
	要介護3 (n= 134)	59.0	36.6	30.6	24.6	20.1	18.7	20.1	9.7	7.5	3.7	2.2	14.2
	要介護4 (n= 75)	61.3	53.3	33.3	29.3	25.3	13.3	24.0	13.3	2.7	2.7	2.7	8.0
	要介護5 (n= 58)	60.3	56.9	36.2	20.7	19.0	8.6	17.2	13.8	1.7	5.2	3.4	17.2
わからない (n= 12)	41.7	50.0	33.3	25.0	16.7	16.7	0.0	8.3	16.7	8.3	0.0	25.0	

9 自由回答（問30）

高齢者保健福祉や介護保険について、意見・要望を自由記述形式でたずねたところ、全体で91件の回答があった。以下、主なものを掲載する。

介護保険・認定・サービス：30件

- ・ 介護を受ける個人によって必要な内容が違うので、与えられた支給ポイント（単位）をその人に必要な内容で使わせてもらいたい。制限が多すぎて、支給されたポイントを1/3くらいしか使用できない。清潔の保持など不可能。我慢している。（女性、70～74歳、要支援2）
- ・ 介護保険はわかりにくい制度であるということが、利用して初めて分かった。規制が過ぎると利用者が利用しにくく不満が募る。家事支援などは内容は大まかでよいのでは。行政は、働く人の声を吸い上げ、それに見合うように、規則の方を修正していくのが本当の役割だと思う。ケアマネジャーも事業者も行政の顔色をうかがっているように思われる。（女性、80～84歳、要介護1）
- ・ 手続きが面倒。時間がかかりすぎ。もう少し受けられるサービスをわかりやすくしてほしい。（女性、85～89歳）【家族】
- ・ デイサービスでの画一的な遊ばせ方も本人達はあきています。何かいい方法はないのでしょうか？（男性、80～84歳、要支援2）
- ・ 介護保険は身体能力の有無を中心に介護度をはかっている傾向がある。高齢による意識の低下、精神能力の低下についても、支援対象として考えられないか考えてほしい。（女性、80～84歳、要介護1）【家族】
- ・ ホームヘルパーさんに来てもらっているのですが、時間と内容が事前に決まっていて、変更ができないのが困ります。時間が余ったので、冷蔵庫の掃除を頼んでもダメ。トイレ掃除の予定だったが、ひとり暮らしで今日はまだきれいだからかわりに台所のシンク掃除を頼んでもダメでした。（女性、85～89歳、要介護1）
- ・ ヘルパーさんの介助中（例、調理中）お茶とかコーヒーをともに飲んだり、世間話のひとつもできる程度の自由があれば、高齢者、特にひとり暮らしにとって精神的な癒しになるのに、規則がありそれはできないとのこと。物理的に充足された介護だけでは、利用者はありがたみが半減する。（男性、75～79歳、要介護1）
- ・ 介護認定の不条理さ。96才の母は、「要介護1」でショートステイと車椅子貸出くらいのサービス利用のみです。「デイサービスはいやだ」と言い、ショートステイも大変な思いをして行ってもらうのです。介護者の気はいつも休まらないのです。ストレスだけが増していきます。施設へ入ってもらった方が楽だし、いろいろなサービスも利用できるのでしょう。同居し、世話をしている者への支援、配慮をもっと手厚くしていただきたいです。そして理解してほしいです。同居していても食事サービス、介護タクシーなど利用できるようにしていただきたいです。（男性、80～84歳、要介護4）
- ・ 小金井市や調布市など、隣接する市町村で相互に利用できる施設があるとよいと思います（女性、85～89歳、要介護1）

介護保険料についての不満：12件

- ・ 高齢者はお金がないため、保険料の負担が大きいです。少し考えてほしいです。(女性、70～74歳、要介護4)

施設整備等について：11件

- ・ 難しいことかとは思いますが、府中市内に低料金で入所できる介護施設を増やし、待機者をなくしていただきたい。(男性、65～69歳、要介護2)【家族】
- ・ いろいろな介護サービスを利用しつつ、頑張っていくつもりですが、どうしてもそれではやっていけない状態になった時は、どこかお世話してくださる施設に入所するしかないと思っています。一番心配なのは、そのような施設の数も少なく、そこで働く人も少なく充実していないため、はたして入れてもらえる所が探せるかどうかということです。市としては予防の方にまわす予算はカットして、一番きつづくつらくなる時のための施設づくり(中味も大事です)の方にまわしてもらいたいです。(男性、80～84歳、要介護1)
- ・ 今、有料老人ホームに入居中で、月40万円かかります。年金ではとても足りません。特養老人ホームを至急、増設していただきたい。府中市はその点、遅れていると痛感いたします。(女性、85～89歳、要介護5)【家族】
- ・ 病院が介護ステーションを持っているケースが少数と聞きますので、もっと増やしたらよいのでは。医者と看護師とケアマネが一体化しているのは、大変、心強いし、今後の介護の在り方だと思います。(女性、85～89歳、要介護5)【家族】
- ・ 施設入所を何年も待っています。主人とともに生きていくのが辛くなっています。施設入所が早く実現できますよう、心から助けてください。(男性、65～69歳、要介護4)【家族】

災害、緊急時の不安：10件

- ・ 母が透析で要介護3なので、災害時大変不安です。市で対策を考えてください。(女性、80～84歳、要介護3)【家族】
- ・ 道路にゴミや草が散乱していて、通行の妨げになっている所が多い。府中市が各自治会に働きかけ、避難道路の点検と見直しを行うよう指示してもらいたい。(男性、65～69歳、要支援1)
- ・ 自宅に寝たきりのものがあるので、何か起きた時にどのように病人を連れ出すか非常に心配です。(男性、80～84歳、要介護5)【家族】
- ・ 災害発生時、自分がいる地域の避難場所の地図や府中市全体の様子がわかる図面があればよいと思います。(男性、75～79歳、要介護2)

情報提供：7件

- ・ 寝たきりや認知症になり自宅で過ごせなくなった時、入れる施設の情報を知りたい。(女性、85～89歳、要支援2)
- ・ できるだけ要介護とならないために、どうしたらよいかの情報提供。(女性、85～89歳、要介護1)【ご家族】

その他：21件

- ・ 市役所の高齢者福祉窓口を、隔週で土曜日の午前中だけでも開設していただきたい。申請書類等提出する際、会社で休暇を取る必要があるので、なるべく休暇はとりたくない。
（女性、90～94歳、要介護3）【家族】
- ・ グループホームを利用していますが、特養を申し込むことを伝えづらい。一生懸命、世話をしてくださっているので…。何かすんなりいく方法を知りたい。（ごくしゃくしたら困る）
（女性、85～89歳、要介護3）【家族】
- ・ 事業者のヘルパー、ケアマネ等の資格取得後の教育チェック。（女性、85～89歳、要介護2）
【家族】
- ・ 介護者の急な疾病や事故・事件などで、介護が十分にできない場合は深刻で、今年の春、母親がショートステイ先からノロウィルスを持ち帰り、私が感染して40度の熱で動けなくなってケアマネジャーに相談しても何らのサポートはありませんでした。ただ、当家の場合は介護者が潰れた場合のリスクを想定し、夜間の随時訪問介護の契約をしていたので、その分は救われましたが、日中の随時訪問介護の契約はしていなかったので大変な目にありました。よって、そのような緊急時の要介護者の保護や介護者のサポートについては、真剣に考えてほしいものです。（女性、80～84歳、要介護5）【家族】

10 主な介護者の状況や意向について ※主に介護している方への質問

(1) 主な介護者 (問 31)

主な介護者は「配偶者 (31.5%)」が最も多く、「娘 (20.0%)」、「息子 (15.3%)」、「娘・息子の配偶者 (10.7%)」が続いている。〔前回:「配偶者」40.7%、「娘」15.9%、「息子」10.0%、「娘・息子の配偶者」8.8%〕

年代別にみると、「配偶者」は年代が上がるに従い低率になっており、代わりに「娘」、「息子」、「娘・息子の配偶者」の割合が高くなる傾向がみられる。

要介護度別にみると、要介護3と要介護4で「配偶者」が4割を超え高くなっている。(図表4-10-1)

図表4-10-1 主な介護者 (全体・年代別・要介護度別)

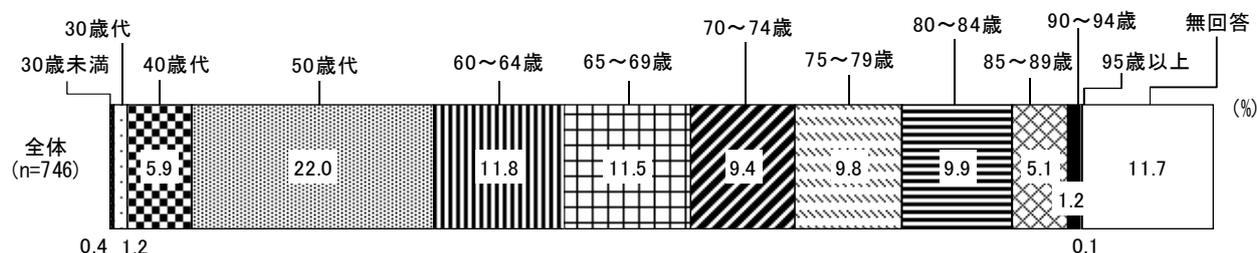
(%)

	配偶者	娘	息子	偶娘者・息子の配	兄弟姉妹	親	孫	その他の親族	その他	無回答	
全体 (n= 746)	31.5	20.0	15.3	10.7	1.6	1.7	0.1	0.7	3.8	14.6	
年代別	65～74歳 (n= 103)	63.1	6.8	7.8	2.9	3.9	2.9	0.0	0.0	2.9	9.7
	75～84歳 (n= 306)	42.2	15.4	12.1	7.8	1.3	1.6	0.0	0.3	3.9	15.4
	85歳以上 (n= 333)	11.7	28.5	20.4	15.6	1.2	1.5	0.3	1.2	3.9	15.6
要介護度別	要支援1 (n= 70)	22.9	14.3	15.7	10.0	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	34.3
	要支援2 (n= 76)	27.6	13.2	15.8	11.8	2.6	0.0	0.0	0.0	2.6	26.3
	要介護1 (n= 176)	23.9	25.6	15.9	10.8	1.7	1.1	0.0	0.6	5.1	15.3
	要介護2 (n= 160)	35.6	20.6	15.6	10.6	1.9	2.5	0.6	0.0	3.1	9.4
	要介護3 (n= 122)	40.2	18.0	15.6	10.7	1.6	1.6	0.0	0.0	5.7	6.6
	要介護4 (n= 72)	43.1	22.2	13.9	9.7	1.4	0.0	0.0	2.8	1.4	5.6
	要介護5 (n= 56)	30.4	19.6	14.3	12.5	0.0	3.6	0.0	1.8	7.1	10.7
わからない (n= 5)	20.0	20.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	

(2) 主な介護者の年齢 (問 32)

主な介護者の年齢は、「50歳代 (22.0%)」が最も多く、「60～64歳 (11.8%)」、「65～69歳 (11.5%)」が続いている。〔前回:「50歳代」16.3%、「75～79歳」15.9%、「70～74歳」12.0%、「40歳代」10.1%〕 (図表4-10-2)

図表4-10-2 主な介護者の年齢 (全体)



(3) 主な介護者の居住地 (問 33)

主な介護者の居住地は、「同じ住宅 (65.5%)」が最も多く、「府中市内 (12.1%)」、「東京都内 (5.8%)」が続いている。〔前回:「同じ住宅」58.1%、「府中市内」12.0%、「東京都内」3.7%〕 (図表4-10-3)

図表4-10-3 主な介護者の居住地 (全体)



(4) 介護している期間 (問 34)

介護している期間は、「3年以上5年未満 (25.6%)」が最も多く、「5年以上10年未満 (22.4%)」、「1年以上3年未満 (19.0%)」が続いている。〔前回:「5年以上10年未満」20.8%、「3年以上5年未満」19.4%、「1年以上3年未満」18.2%〕 (図表4-10-4)

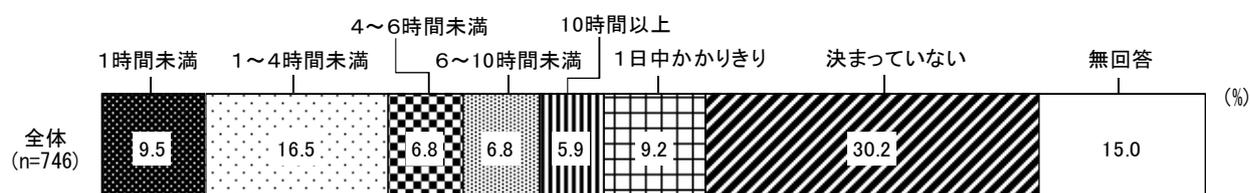
図表4-10-4 介護している期間 (全体)



(5) 1日に介護している平均時間 (問 35)

1日に介護している平均時間は、「決まっていない (30.2%)」が最も多く、「1~4時間未満 (16.5%)」、「1時間未満 (9.5%)」が続いている。〔前回:「決まっていない」29.1%、「1~4時間未満」14.8%、「1日中かかりきり」8.4%〕 (図表4-10-5)

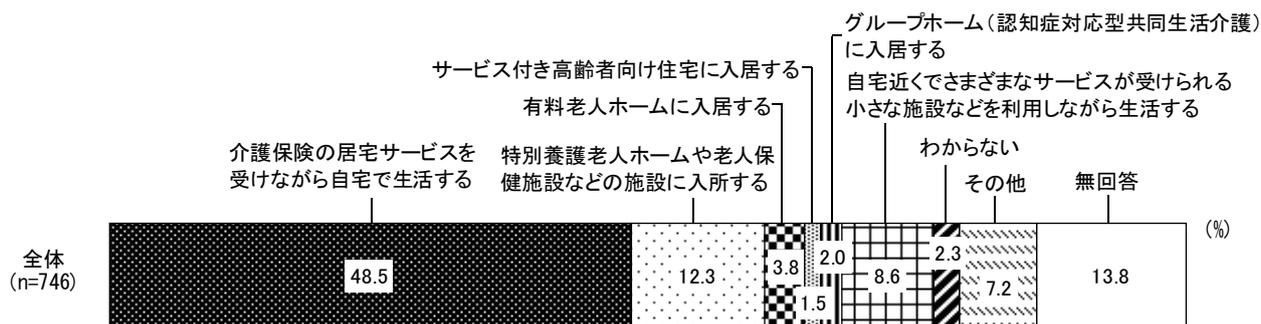
図表4-10-5 1日に介護している平均時間 (全体)



(6) 被介護者が生活するのによいところ (問 36)

被介護者が生活するのによいところは、「介護保険の居宅サービスを受けながら自宅で生活する (48.5%)」が最も多く、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所する (12.3%)」、「自宅近くでサービスが受けられる小さな施設などを利用しながら生活する (8.6%)」が続いている。(図表 4-10-6)

図表 4-10-6 被介護者が生活するのによいところ (全体)



(7) 認知症の診断について

① 認知症診断の有無 (問 37)

認知症診断の有無は、「受けている」が 40.9%、「受けていない」は 50.4%となっている。年代別にみると、「受けている」は、年代が低くなるに従い低率になっており、65～74 歳では 29.1%と 3割に満たない。

要介護度別にみると要介護 3、要介護 4、要介護 5 で「受けている」が 5割を超え高くなっている。(図表 4-10-7-①)

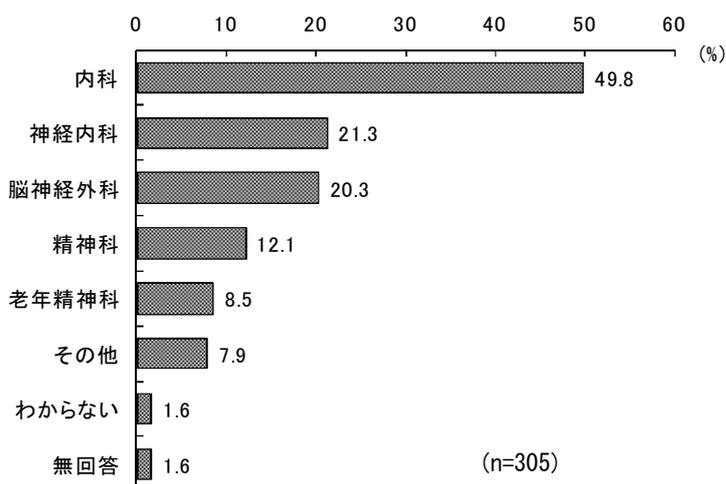
図表 4-10-7-① 認知症診断の有無 (全体、年代別、要介護度別) (%)

		受けている	受けていない	無回答
全 体 (n= 746)		40.9	50.4	8.7
年代別	65～74 歳 (n= 103)	29.1	65.0	5.8
	75～84 歳 (n= 306)	42.8	48.7	8.5
	85 歳以上 (n= 333)	43.2	47.4	9.3
要介護度別	要支援 1 (n= 70)	25.7	55.7	18.6
	要支援 2 (n= 76)	17.1	72.4	10.5
	要介護 1 (n= 176)	43.8	46.6	9.7
	要介護 2 (n= 160)	38.1	57.5	4.4
	要介護 3 (n= 122)	50.8	43.4	5.7
	要介護 4 (n= 72)	55.6	38.9	5.6
	要介護 5 (n= 56)	53.6	37.5	8.9
	わからない (n= 5)	40.0	60.0	0.0

②診断を受けた診療科（問 37-1）

医師から認知症の診断を受けた人に診断を受けた診療科をたずねたところ、「内科（49.8%）」が半数を占め最も多く、「神経内科（21.3%）」、「脳神経外科（20.3%）」が続いている。（図表4-10-7-②）

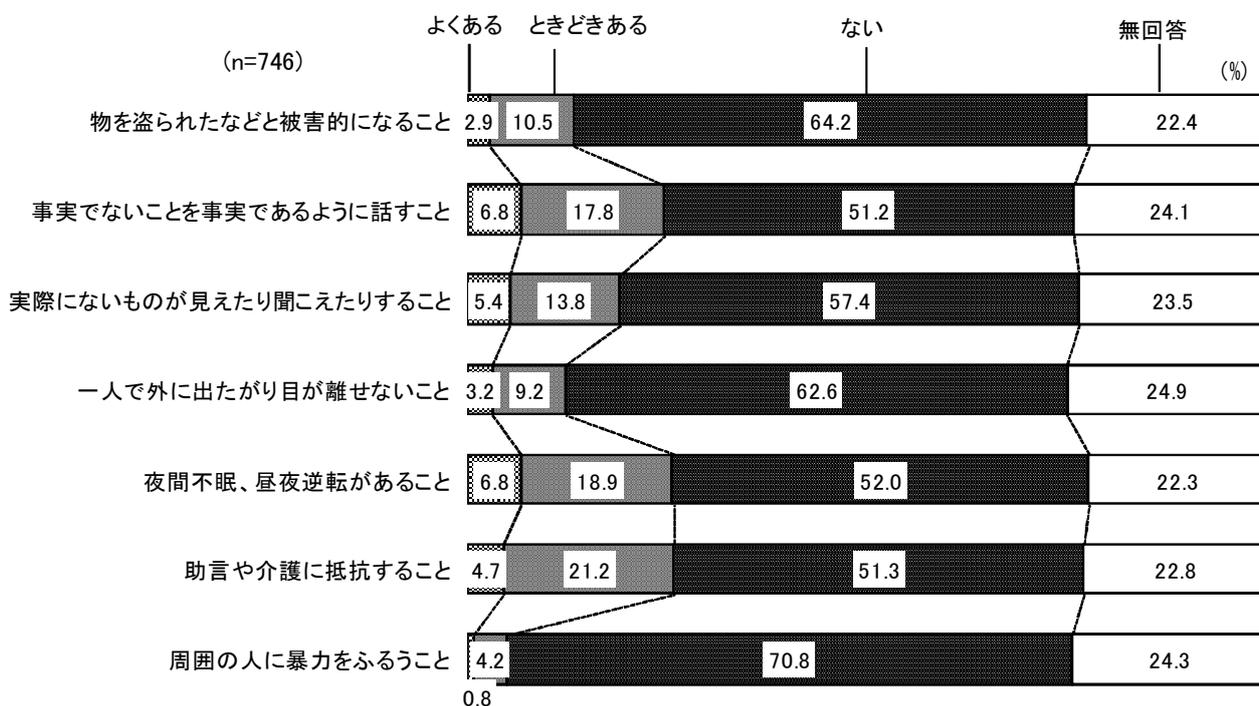
図表4-10-7-② 認知症の診断を受けた診療科（全体：複数回答）＜診断を受けた人＞



(8) 被介護者に当てはまる症状（問 38）

被介護者に当てはまる症状は、「ときどきある」と「よくある」を合計した《ある》は、『助言や介護に抵抗すること（25.9%）』、『夜間不眠、昼夜逆転があること（25.7%）』、『事実でない事を事実であるように話すこと（24.6%）』が上位3項目となっている。（図表4-10-8）

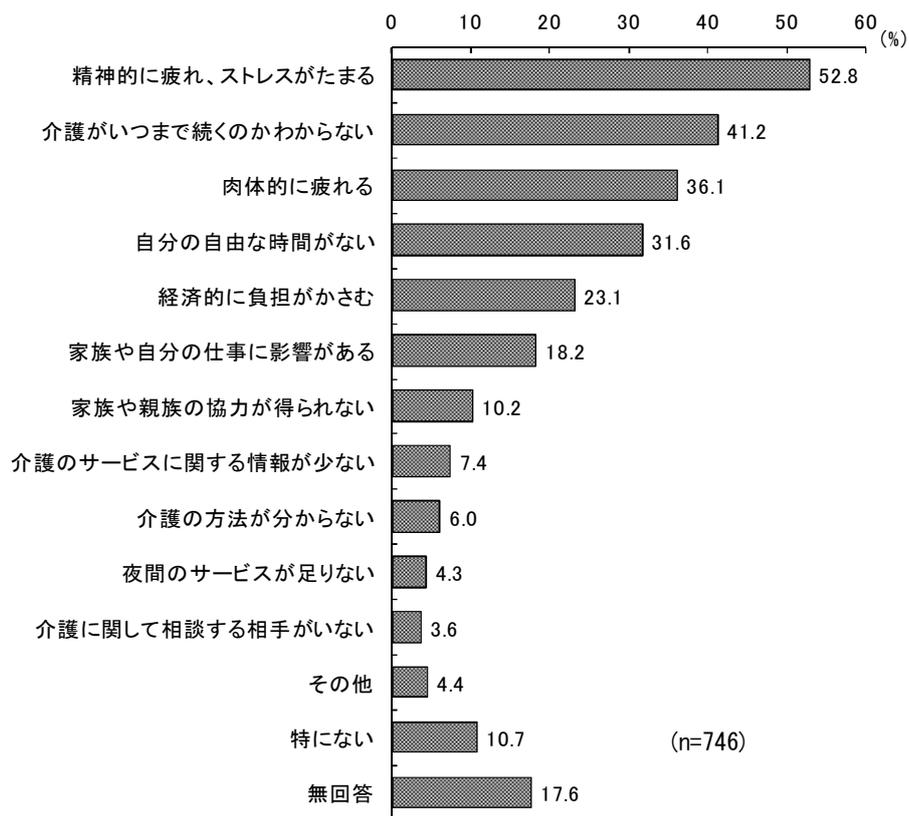
図表4-10-8 被介護者に当てはまる症状（全体）



(9) 介護をしていくうえでの問題点 (問 39)

介護をしていくうえでの問題点は、「精神的に疲れ、ストレスがたまる (52.8%)」が最も多く、「介護がいつまで続くのかわからない (41.2%)」、「肉体的に疲れる (36.1%)」、「自分の自由な時間がない (31.6%)」が続いている。〔前回：ほぼ同傾向〕 (図表 4-10-9)

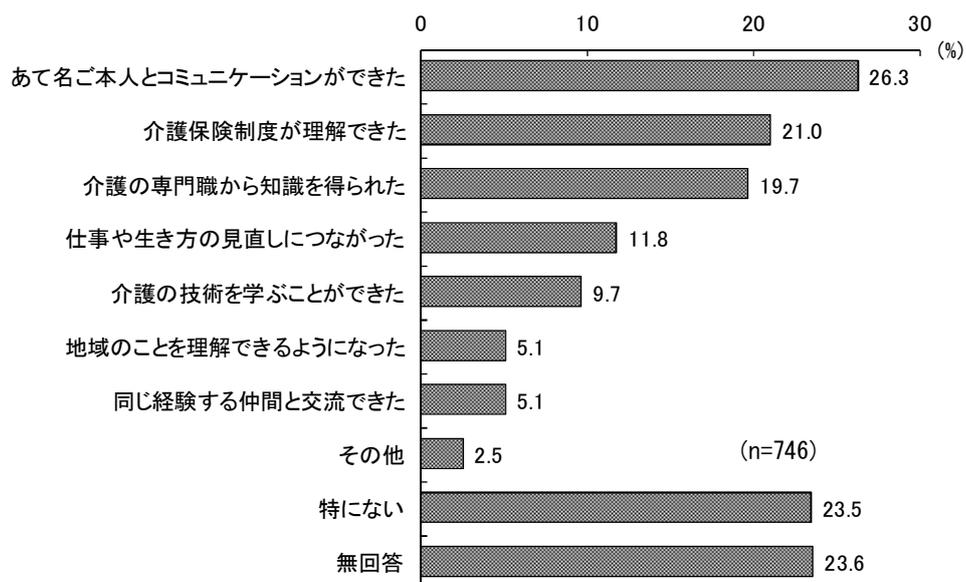
図表 4-10-9 介護をしていくうえでの問題点 (全体：複数回答)



(10) 介護をしていて良かったと思うこと（問40）

介護をしていて良かったと思うことは、「あて名ご本人とコミュニケーションができた（26.3%）」が最も多く、「介護保険制度が理解できた（21.0%）」、「介護の専門職から知識を得られた（19.7%）」が続いている。「特にない」は23.5%となっている。（図表4-10-10）

図表4-10-10 介護をしていて良かったと思うこと（全体：複数回答）



(11) 介護者支援として必要と思うもの（問41）

介護者支援として必要と思うものは、「介護者に対する定期的な情報提供（33.1%）」が最も多く、「介護者が気軽に休息がとれる機会作り（32.4%）」、「在宅介護者への手当（30.0%）」が続いている。（図表4-10-11）

図表4-10-11 介護者支援として必要と思うもの（全体：複数回答）

